Pioneer

音楽管理ソフトウェア

rekordbox™

操作説明書

rekordbox

もくじ

本書の見かた

- 本書では、コンピュータ画面に表示される画面名、メニュー名、およびボタン名などを、[ ] で囲んで記載しています。(例：[コレクション] ペイン、[ファイル] メニュー、[▶/❚❚])
- 本書では、マウスの左ボタンをクリックする操作を「クリック」、マウスの右ボタンをクリックする操作を「右クリック」と記載しています。ただし、Macintosh コンピュータでシングルボタンのマウスをお使いの場合には、「クリック」はマウスボタンをクリックする操作を指し、「右クリック」はコンピュータのキーボードの [Ctrl] キーを押しながらクリックする操作を指します。
- rekordbox は、組み合わせて使用するパイオニア製 DJ 機器によって機能が一部異なります。本書では、対応する機器が限定される機能の場合に、機器のマーク（例: *CDJ-2000*、*DJM-2000*）を表示しています。rekordbox が対応するすべてのパイオニア製 DJ 機器に共通の機能の場合は、機器のマークは表示していません。お客様がお住まいの国や地域によっては、本書に記載されているパイオニア製 DJ 機器が販売されていないことがあります。

❶ rekordbox について

rekordbox の概要 3
rekordbox の特長 3
rekordbox を使って演奏の準備をする 5
rekordbox と DJ 機器を組み合わせて使う 6
各部の名前 7
rekordbox を起動する 9

❷ rekordbox を使って準備する

音楽ファイルをコレクションに追加する 10
音楽ファイルを検索する 11
音楽ファイルを試聴する 13
キューまたはループを設定する 15
キューまたはループを保存する 16
ホットキューを記録する 16
プレイリストを使って音楽ファイルを整理する 17
ホットキューバンクリストを使ってホットキューを整理する 19

❸ DJ 機器を使って演奏する

USB デバイスを使って演奏する 21
LAN につないで演奏する 24

❹ その他

設定項目一覧 27
メニュー項目一覧 28
ジャンル一覧 29
免責事項について 30
オンラインサポートのご利用について 31
著作権についてのご注意 31
商標、ライセンス等 31

rekordbox について

rekordbox の概要

rekordbox は、パイオニア製 DJ プレーヤーをお買い上げいただいたお客様が、DJ プレイに使う音楽ファイルを管理するためのソフトウェアです。
- コンピュータに保存されている音楽ファイルを分類・検索し、DJ シーンに応じたプレイリストを作成できます。
- 音楽ファイルの拍位置 (ビート)、テンポ (BPM) などをあらかじめ検出・測定・調整しておくことができます。
- キュー、ループ、ホットキューなどのポイント情報をあらかじめ設定・保存しておくことができます。

rekordbox で準備した各種ポイント情報やプレイリストを使ってパイオニア製 DJ プレーヤーで演奏できるだけでなく、演奏後の演奏履歴、演奏回数、ポイント情報などを rekordbox にフィードバックできます。

rekordbox の特長

音楽ファイルを自動解析し、より高度なパフォーマンスが可能に

❖ MUSIC FILE ANALYSIS

rekordbox を使って音楽ファイルを解析することにより、波形、拍位置 (ビート) 、テンポ (BPM) など、DJ プレイをするときに便利なさまざまな情報を取得・表示できます。たとえば、
- 解析済みの音楽ファイルを DJ プレーヤーにロードすると、波形情報がただちに表示され、曲全体を視覚的に把握できます。
- rekordbox や DJ プレーヤー（CDJ-2000nexus、CDJ-2000、CDJ-900、XDJ-AERO、XDJ-R1 など) のクオンタイズ機能を使って、正確なキューやループを簡単に設定できます。
- 正確で安定した BPM 情報を瞬時に表示･確認できます。また、ビートシンク機能を使って、複数の DJ プレーヤー（CDJ-2000nexus など）や左右のデッキ（XDJ-AERO や XDJ-R1 など）のテンポ (BPM) と拍位置 (ビート) を同期させたミキシングができます。

パイオニア製 DJ 機器と rekordbox とで連携して実現できる機能は、お使いになる DJ 機器によって異なります。

❖ BEAT GRID

音楽ファイルを解析して検出された拍位置 (ビート) が、拡大波形表示上に点や線でグリッド表示されます。

❖ QUANTIZE

CDJ-2000nexus CDJ-2000 CDJ-900 DJM-2000nexus DJM-2000 DJM-900nexus XDJ-AERO XDJ-R1

rekordbox を使って音楽ファイルの拍位置（ビート）をあらかじめ検出・調整しておくことによって、DJ プレーヤーや DJ ミキサーでラフにボタンを押しても、オンビートでキューやループ、エフェクトを設定・演奏できます。

❖ CUE/LOOP POINT MEMORY

CDJ-2000nexus CDJ-2000 CDJ-900 CDJ-850 MEP-4000 RMX-1000

rekordbox を使ってあらかじめキュー / ループポイントを設定・保存しておくことによって、DJ プレーヤーでキュー / ループポイントを呼び出せます。rekordbox で保存できるキュー / ループポイントは、1 つの音楽ファイルにつき 10 個までです。また、rekordbox で作成したループを切り出して WAVE ファイルに出力することもできます。

❖ HOT CUE

CDJ-2000nexus CDJ-2000 XDJ-R1

rekordbox を使ってあらかじめホットキューを記録しておくことによって、DJ プレーヤーでホットキューを呼び出すことができます。rekordbox で記録できるホットキューは、1 つの音楽ファイルにつき 3 個までです。

❖ HOT CUE BANK LIST

CDJ-2000nexus CDJ-2000

rekordbox では、DJ プレーヤーで使いたい３つのホットキュー (**A**、**B**、**C**) の組み合わせをホットキューバンクリストとして作成できます。このホットキューバンクリストには、異なる音楽ファイルのキューを組み合せて登録できます。
ホットキューバンクリストを多数用意しておくことによって、これまでにはなかった数多くのホットキューの組み合わせを DJ プレーヤーで素早く呼び出して演奏できます。

❖ BEAT SYNC

CDJ-2000nexus XDJ-AERO XDJ-R1

rekordbox を使って音楽ファイルを解析することにより、複数の DJ プレーヤー間（または左右のデッキ間）でテンポ (BPM) と拍位置 (ビート) を同期させた多彩なエフェクトやミキシングが可能になり、DJ プレイの幅が大きく広がります。

ジャンルやアーティストなどの情報を設定することにより、DJ プレーヤーで快適なブラウズが可能に

❖ LIBRARY BROWSE

CDJ-2000nexus CDJ-2000 CDJ-900 CDJ-850 CDJ-350 MEP-4000 XDJ-AERO XDJ-R1

rekordbox を使って音楽ファイルの表示カテゴリーやソート項目を設定できます。あらかじめ設定しておくことにより、DJ プレーヤーで音楽ファイルを選曲するときにライブラリブラウズ機能（ジャンルや BPM など）で音楽ファイルを表示、ソート、検索できます。

❖ PLAYLIST

CDJ-2000nexus CDJ-2000 CDJ-900 CDJ-850 CDJ-350 MEP-4000 XDJ-AERO XDJ-R1

rekordbox を使ってお気に入りの音楽ファイルのプレイリストをあらかじめ作成しておくことによって、DJ プレーヤーで目的のトラックを素早く選曲できます。

❖ TAG LIST

CDJ-2000nexus CDJ-2000 CDJ-900 XDJ-AERO

プレイリストとは別に、これから演奏する予定の音楽ファイルを rekordbox のタグリストに一時的に集めておけます。また、rekordbox のタグリストは、コンピュータと LAN で接続された DJ プレーヤーとの間でオンラインで共用できます。複数の DJ プレーヤーを交互に使ってライブ演奏をしているときの選曲操作にとても便利です。

DJ 機器とリンクして音楽ファイルやデータを共有

❖ USB EXPORT

CDJ-2000nexus CDJ-2000 CDJ-900 CDJ-850 CDJ-350 MEP-4000 XDJ-AERO XDJ-R1

DJ ブースにコンピュータを持ち込まずに、USB デバイス（フラッシュメモリーやハードディスク）を使って、rekordbox の音楽ファイルやデータを DJ プレーヤーと受け渡しできます。一部の DJ プレーヤー (CDJ-2000nexus や CDJ-2000 など) では、USB デバイスの代わりに SD メモリーカードを使えます。

❖ LINK EXPORT

CDJ-2000nexus CDJ-2000 CDJ-900 XDJ-AERO

DJ プレーヤーとコンピュータを LAN ケーブルや無線 LAN で接続すると、DJ プレーヤーに rekordbox の音楽ファイルやデータをリアルタイムでロードできます。
接続のしかたについては、各 DJ プレーヤーおよびコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

❖ PRO DJ LINK

CDJ-2000nexus CDJ-2000 CDJ-900 DJM-2000nexus DJM-2000 DJM-900nexus

PRO DJ LINK に対応したパイオニア製 DJ 機器を LAN ケーブルを使って相互に接続することによって、DJ ミキサーや複数の DJ プレーヤーで rekordbox の音楽ファイルやデータを共有できます。DJ プレーヤーは 4 台まで接続できます。
また、rekordbox がインストールされているコンピュータを 2 台まで接続できるので、DJ の交代がスムーズに済みます。なお、LAN の構成や DJ プレーヤーの仕様によっては、最大6台のコンピュータ（有線接続 2 台 / 無線接続 4 台）との通信が可能です。

❖ LINK MONITOR

DJM-2000nexus DJM-2000 DJM-900nexus

PRO DJ LINK で接続された DJ ミキサーのヘッドホンで rekordbox の音楽ファイルをモニターできます。

プレイしたトラックをプレイリスト化し、DJ プレイの振り返りや次回のプレイに応用

❖ HISTORY/PLAYLIST

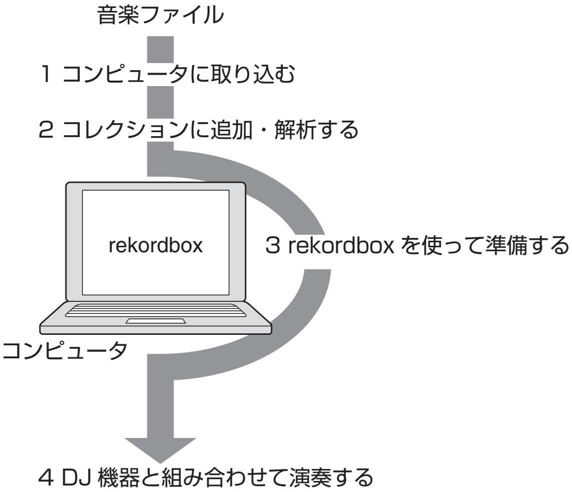
CDJ-2000nexus CDJ-2000 CDJ-900 CDJ-850 CDJ-350 XDJ-AERO XDJ-R1

DJ プレーヤーで演奏した演奏履歴や DJ プレーヤーで作成したプレイリストを rekordbox にフィードバックできます。演奏履歴は rekordbox にプレイリストとして保存されます。

rekordbox を使って演奏の準備をする

パイオニア製 DJ プレーヤー (CDJ-2000nexus、CDJ-2000、CDJ-900、CDJ-850、CDJ-350、XDJ-AERO、XDJ-R1) に付属の CD-ROM から、コンピュータに rekordbox をインストールしてお使いください。rekordbox のソフトウェア使用許諾契約書、最低動作環境、インストール手順などについては、「ご使用の前に 」(別冊) をご覧ください。

- rekordbox のオンラインサポートから、インストールプログラムをダウンロードすることもできます。rekordbox のソフトウェア使用許諾契約書、最低動作環境、インストール手順などについては、rekordbox のオンラインサポートでもご覧いただけます (➡ 31ページ の「オンラインサポートのご利用について」)。



1 コンピュータに取り込む

コンピュータ内に音楽ファイルを用意します。

- rekordbox には音楽 CD から音楽ファイルを取り込む機能はありません。また、インターネットから音楽ファイルを購入する機能もありません。お持ちのソフトウェアを使ってコンピュータ内に音楽ファイルをご用意ください (➡ 30 ページ の「読み込みおよび再生が可能な音楽ファイル (ファイル形式)」)。

2 コレクションに追加・解析する

音楽ファイルの拍位置 (ビート) を解析し、曲のテンポ (BPM) を測定します。

- 音楽ファイル (MP3、AAC) のタグ情報を取り込めます。また、iTunes ライブラリから音楽ファイルの情報を取り込むこともできます。

3 rekordbox を使って準備する

各種ポイント情報 (キュー、ループ、ホットキュー) を設定します。
演奏リスト (プレイリスト、ホットキューバンクリスト) を作成します。

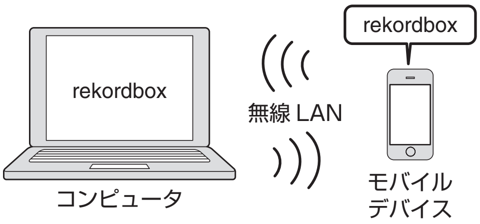
- 他のソフトウェアで作成したプレイリスト (M3U、PLS) を取り込めます。また、iTunes からプレイリストを取り込むこともできます。

4 DJ 機器と組み合わせて演奏する

rekordbox で準備しておいた各種ポイント情報や演奏リストを使ってパイオニア製 DJ 機器で演奏できます。

- パイオニア製 DJ プレーヤーでの演奏履歴、演奏回数、ポイント情報などを rekordbox にフィードバックできます。

モバイルデバイスを使って演奏の準備をする



rekordbox で解析済みの音楽ファイル、rekordbox で作成したプレイリストやマイセッティングなどをモバイルデバイス (iPhone や Android™ 端末など) へ転送することができます。また、モバイルデバイスで修正した音楽データを rekordbox に反映できます (➡ 21ページ の「無線 LAN (Wi-Fi ®) 対応のモバイルデバイスを接続する」)。

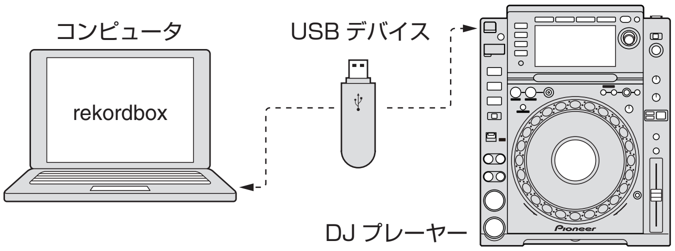
- モバイルデバイス側にも rekordbox をインストールする必要があります。モバイルデバイス用の rekordbox は、App Store や Play Store などのオンラインストアからモバイルデバイスにダウンロードできます。
- モバイルデバイスを用いて実現できる機能については、モバイルデバイス用の rekordbox のユーザーマニュアルをご覧ください。
- 無線 LAN の接続方法については、お使いのモバイルデバイス、コンピュータおよび無線 LAN 機器の説明書をご覧ください。

rekordbox と DJ 機器を組み合わせて使う

パイオニア製 DJ 機器をコンピュータに接続する前に、各 DJ 機器の取扱説明書に記載されている「安全上のご注意」および「接続する」を必ずお読みください。
パイオニア製 DJ プレーヤーで使える SD メモリーカードおよび USB デバイス (フラッシュメモリーまたはハードディスク) については、各 DJ プレーヤーの取扱説明書をご覧ください。
rekordbox と組み合わせて使用できるパイオニア製 DJ プレーヤーについての最新情報は、rekordbox のオンラインサポートでご案内しています (➡ 31ページ の「オンラインサポートのご利用について」)。

USB デバイスを使って演奏する (USB EXPORT)

CDJ-2000nexus CDJ-2000 CDJ-900 CDJ-850 CDJ-350 MEP-4000 XDJ-AERO XDJ-R1

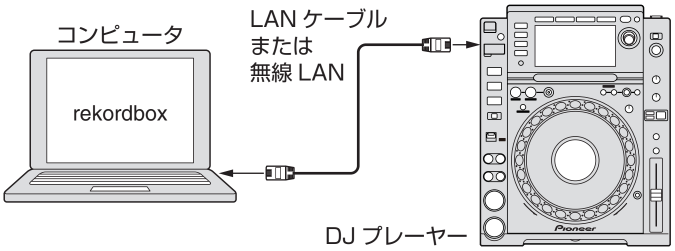


DJ ブースにコンピュータを持ち込まずに、USB デバイス (フラッシュメモリーやハードディスク) を使って、rekordbox の音楽ファイルやデータを DJ プレーヤーと受け渡しできます (➡ 21ページ の「USB デバイスを使って演奏する」)。

- 一部の DJ プレーヤー (CDJ-2000nexus や CDJ-2000 など) では、USB デバイスの代わりに SD メモリーカードを使えます。

LAN につないで演奏する (LINK EXPORT)

CDJ-2000nexus CDJ-2000 CDJ-900 XDJ-AERO

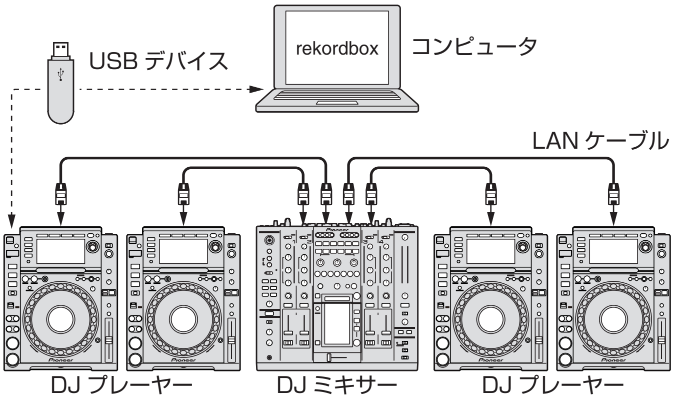


DJ プレーヤーとコンピュータを LAN ケーブルや無線 LAN で接続すると、DJ プレーヤーに rekordbox の音楽ファイルやデータをリアルタイムでロードできます (➡ 24ページ の「LAN につないで演奏する」)。

- 接続のしかたについては、各 DJ プレーヤーおよびコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

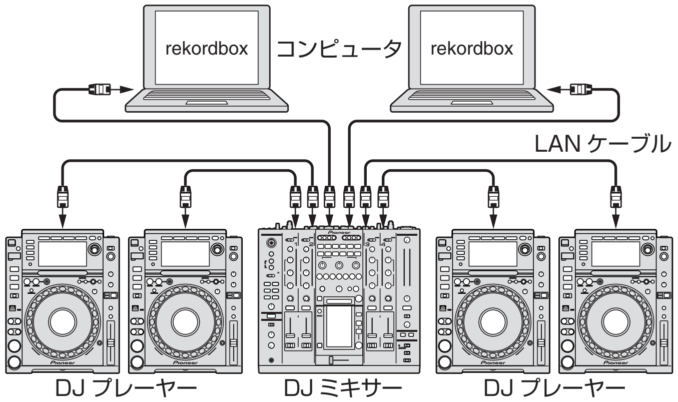
複数の DJ 機器を連結して演奏する (PRO DJ LINK)

CDJ-2000nexus CDJ-2000 CDJ-900 DJM-2000nexus DJM-2000 DJM-900nexus



PRO DJ LINK に対応した DJ ミキサーと DJ プレーヤーを LAN ケーブルを使って接続すると、USB デバイスに記録されている rekordbox の音楽ファイルやデータを最大 4 台の DJ プレーヤーと受け渡しできます (➡ 21ページ の「USB デバイスを使って演奏する」)。

- 一部の DJ プレーヤー (CDJ-2000nexus や CDJ-2000 など) では、USB デバイスの代わりに SD メモリーカードを使えます。
- DJ ミキサーの代わりにスイッチングハブを使えます。
- 接続のしかたについては、各 DJ 機器の取扱説明書をご覧ください。

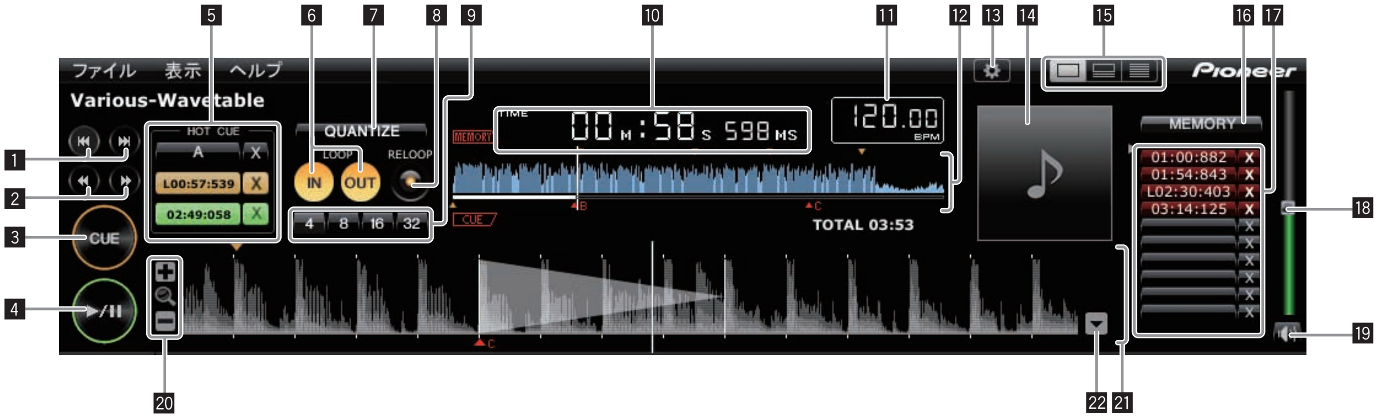


rekordboxがインストールされたコンピュータをLANケーブルでPRO DJ LINK に接続すると、最大 4 台の DJ プレーヤーに rekordbox の音楽ファイルやデータをリアルタイムにロードできます。
また、PRO DJ LINK に対応した DJ ミキサーと rekordbox がインストールされたコンピュータを LAN ケーブルを使って接続すると、DJ ミキサーに接続しているヘッドホンで rekordbox の音楽ファイルをモニターできます (➡ 24ページ の「LAN につないで演奏する」)。

- DJ ミキサーの代わりにスイッチングハブを使えます。
- PRO DJ LINK に接続できるコンピュータは 2 台までです。ただし、LAN の構成や DJ プレーヤーの仕様によっては、最大 6 台のコンピュータ（有線接続 2 台 / 無線接続 4 台）との通信が可能です。
- 接続のしかたについては、各 DJ 機器およびコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

各部の名前

プレーヤーパネル



1 ⏮/⏭
頭出し (トラックサーチ) します。
- [⏭] をクリックすると、次のトラックの先頭に進みます。
- [⏮] をクリックすると、再生中のトラックの先頭に戻ります。2 回続けて押すと 1 つ前に戻ります。

2 ◀◀/▶▶
再生中に押し続けると、早送り / 早戻し (サーチ) します。

3 CUE
キューを設定します。
➡ 15ページ の「キューまたはループを設定する」

4 ▶/II
再生または一時停止します。
➡ 13ページ の「音楽ファイルを試聴する」

5 HOT CUE (A、B、C)
ホットキューを記録します。
➡ 16ページ の「ホットキューを記録する」

6 LOOP IN/LOOP OUT
リアルタイムキューやループイン / ループアウトを設定します。
➡ 15ページ の「キューまたはループを設定する」

7 QUANTIZE
キューやループを近くの拍位置（ビートグリッド）に合せて設定します。
➡ 15ページ の「キューまたはループを設定する」
➡ 16ページ の「ホットキューを記録する」

8 RELOOP
ループ再生を解除または再開します。
➡ 15ページ の「キューまたはループを設定する」

9 オートビートループ (4、8、16、32)
ループの長さを拍数で指定します。
➡ 15ページ の「キューまたはループを設定する」

10 時間表示 (TIME/REMAIN)、分 (M)、秒 (S)、ミリ秒 (MS)
1000 ミリ秒で 1 秒です。
- [TIME] をクリックすると、[REMAIN(残り時間表示)] に切り替わります。
- [REMAIN] をクリックすると、[TIME(経過時間表示)] に切り替わります。

11 BPM 表示
再生しているトラックの BPM (=Beats Per Minute。1 分間の拍数) を表示します。
➡ 13ページ の「音楽ファイルを試聴する」

12 プレーイングアドレス & 全体波形表示
現在の再生位置を細い垂直線と太い水平バーで表示します。
- 経過時間を表示しているときは、水平バーは左端から点灯していきます。
- 残り時間を表示しているときは、水平バーは左端から消灯していきます。

13 環境設定
[環境設定] 画面を開きます。
➡ 27ページ の「設定項目一覧」

14 アートワーク
音楽ファイルのアートワーク画像を表示します。
➡ 10ページ の「音楽ファイルをコレクションに追加する」

15 プレーヤーパネル表示切替
プレーヤーパネルの表示 / 非表示を切り換えます。
➡ 11ページ の「音楽ファイルを検索する」

16 MEMORY/ACTIVE
設定したキューまたはループを保存します。また、保存されたループの 1 つをアクティブループに設定します。
➡ 16ページ の「キューまたはループを保存する」

17 キュー / ループ呼び出し
保存したキューまたはループを呼び出します。
➡ 16ページ の「キューまたはループを保存する」

18 ボリューム
上下にドラッグして音量を調節します。

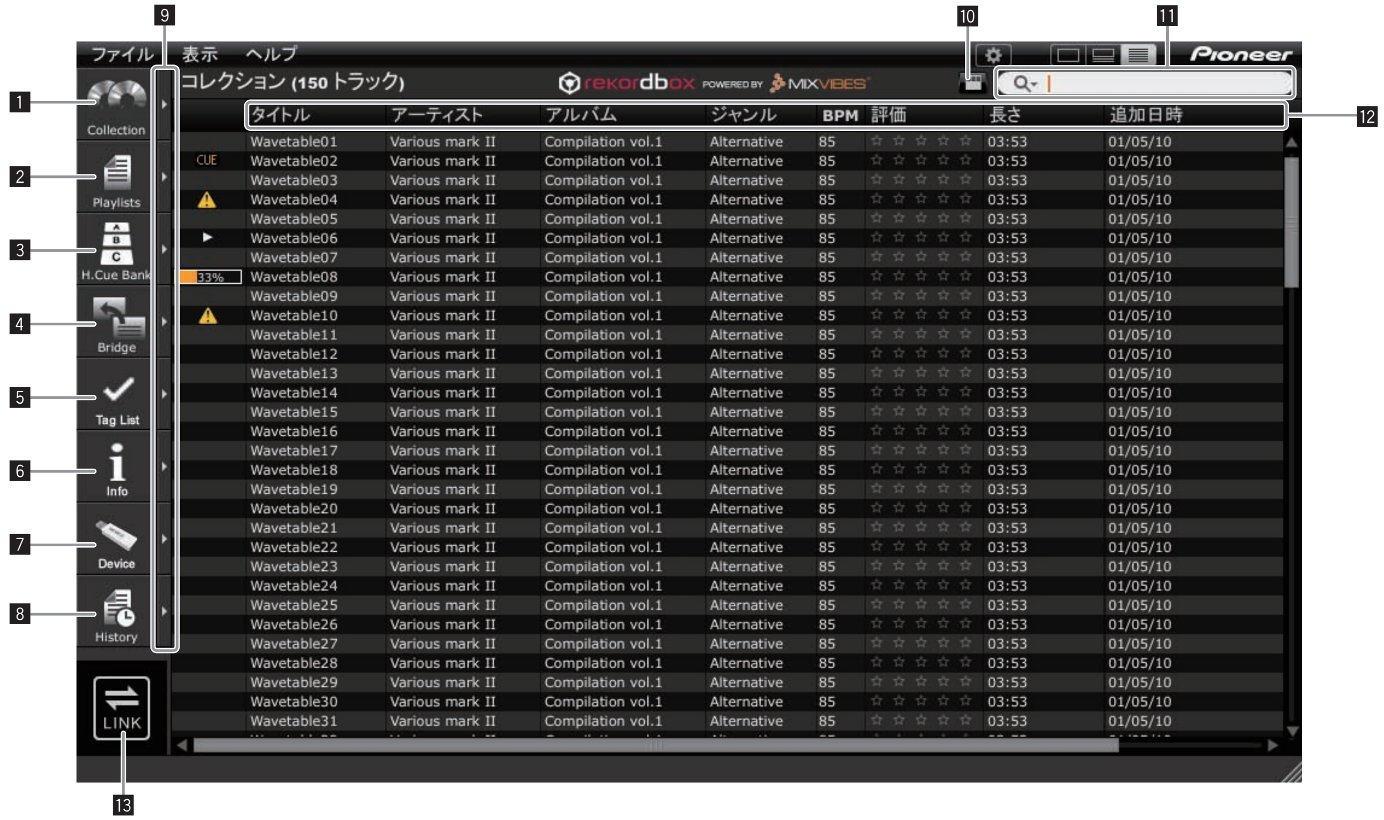
19 ミュート
ボタンを押すと音声をミュートします。

20 +/ 🔍 /–
拡大波形表示を拡大または縮小します。

21 拡大波形表示 & ビートグリッド
表示される波形を左右にドラッグすることで、再生位置を前後に移動できます。音楽ファイルを解析して検出された拍位置が白色の点で表示されます。
➡ 13ページ の「音楽ファイルを試聴する」

22 ビートグリッド調整
拡大波形表示の下部にビートグリッド調整メニューを開いて表示します。
➡ 13ページ の「音楽ファイルを試聴する」

ブラウザーパネル



1 Collection
ブラウザーパネルに [コレクション] ペインを表示します。
➡ 10ページ の「音楽ファイルをコレクションに追加する」

2 Playlists
ブラウザーパネルに [プレイリスト] ペインを表示します。
➡ 17ページ の「プレイリストを使って音楽ファイルを整理する」

3 H. Cue Bank
ブラウザーパネルに [ホットキューバンクリスト] ペインを表示します。
➡ 19ページ の「ホットキューバンクリストを使ってホットキューを整理する」

4 Bridge
ブラウザーパネルに [ブリッジ] ペインを表示します。
➡ 10ページ の「音楽ファイルをコレクションに追加する」
➡ 17ページ の「プレイリストを使って音楽ファイルを整理する」

5 Tag List
ブラウザーパネルに [タグリスト] ペインを表示します。
➡ 24ページ の「LAN につないで演奏する」

6 Info
ブラウザーパネルに [情報] ペインを表示します。
➡ 10ページ の「音楽ファイルをコレクションに追加する」

7 Device
ブラウザーパネルに [デバイス] ペインを表示します。
➡ 21ページ の「USB デバイスを使って演奏する」

8 History
ブラウザーパネルに [演奏履歴] ペインを表示します。
➡ 24ページ の「LAN につないで演奏する」

9 ペインを並べて表示
現在表示されているペインの右側にペインを並べて表示します。右側に表示されたペインを閉じるときは、ペインの左上隅にある [◀] をクリックします。

10 カテゴリーフィルター
カテゴリーフィルターを使って音楽ファイルを探します。
➡ 11ページ の「音楽ファイルを検索する」

11 検索フィルター
検索フィルターを使って音楽ファイルを探します。
➡ 11ページ の「音楽ファイルを検索する」

12 項目名
情報をソートして音楽ファイルを探します。
項目名の表示 / 非表示と並び順を変更できます。
➡ 11ページ の「音楽ファイルを検索する」

13 LINK
LAN ケーブルや無線 LAN で接続されている DJ 機器（CDJ-2000nexus、CDJ-2000、CDJ-900、XDJ-AERO など) との通信を可能な状態にします。
➡ 24ページ の「LAN につないで演奏する」

リンクステータスパネル

1 2 3 4

1 **LINK**
LAN ケーブルや無線 LAN で接続されている DJ 機器（CDJ-2000nexus、CDJ-2000、CDJ-900、XDJ-AERO など) との通信を終了します。
➡ 24ページ の「LAN につないで演奏する」

2 **シンクマスター**
DJ プレーヤー (CDJ-2000nexus など) でビートシンク機能を使って演奏するときに、rekordbox で指定したマスター BPM (テンポ) を使って同期させます。
➡ 25ページ の「複数の DJ プレーヤー間でビートシンク機能を使って演奏する」

3 **マスター BPM**
シンクマスターに用いられるテンポ (BPM) を指定します。
➡ 25ページ の「複数の DJ プレーヤー間でビートシンク機能を使って演奏する」

4 **リンクステータス**
LAN ケーブルや無線 LAN で接続されている DJ 機器（CDJ-2000nexus、CDJ-2000、CDJ-900、XDJ-AERO など) の状態をブラウザーパネルの下部に表示します。
➡ 24ページ の「LAN につないで演奏する」

rekordbox を起動する

コンピュータの管理者に設定されているユーザーでログイン (またはログオン) してから rekordbox をお使いください。

Mac OS X のとき

Finder で [アプリケーション] フォルダを開いてから [rekordbox 2.x.x.app] をダブルクリックする
2.x.x は rekordbox のバージョンを示します。

Windows® 7、Windows Vista® および Windows® XP のとき

Windows の [スタート] メニューから、[すべてのプログラム] > [Pioneer] > [rekordbox 2.x.x] > [rekordbox 2.x.x] をクリックする
2.x.x は rekordbox のバージョンを示します。

rekordbox を使って準備する

音楽ファイルをコレクションに追加する

コンピュータ内にある音楽ファイルを解析して rekordbox の音楽コレクションとして登録します。

音楽ファイルまたは音楽フォルダを解析する

1 をクリックする

ブラウザーパネルに [コレクション] ペインが表示されます。

2 [ファイル] メニュー > [インポート] > [ファイル] を選ぶ

[コレクションに追加] 画面が開きます。

3 音楽ファイルが保存されているフォルダおよびファイル名を選んで、[開く] をクリックする

音楽ファイルがコレクションに追加され、音楽ファイルのタグ情報が読み込まれて表示されます。音楽ファイルの波形情報の解析が始まると、解析中の音楽ファイルの左に が表示され、解析が終わると消えます。

音楽ファイルの波形情報を解析するモードとして [ノーマル] と [ダイナミック] の 2 つの選択肢があります (➡ 27ページ の「曲解析」)。

- フォルダ内の音楽ファイルをすべて追加するときは、[ファイル] メニュー > [インポート] > [フォルダ] を選びます。
- Finder または Windows エクスプローラを開いて、音楽ファイルを [コレクション] ペインにドラッグしても追加できます。
- WAVE ファイルまたは AIFF ファイルをコレクションに追加したときは、タグ情報が表示されないことがあります。音楽ファイルから読み込めるタグ情報は、ID3 タグ (v1、v1.1、v2.2.0、v2.3.0、v2.4.0) またはメタタグです。
- 音楽ファイルの波形情報の解析が終了すると、プレーヤーパネルで拍位置 (ビート) とテンポ (BPM) を確認することができます (➡ 13ページ の「音楽ファイルを試聴する」)。
- 音楽ファイルの波形情報を解析すると同時にキー (音階) を検出できます (➡ 27ページ の「インポート時にキーを検出」)。
- コレクションから音楽ファイルを取り除くときは、[コレクション] ペインで音楽ファイルを選んでからコンピュータのキーボードで [Delete] キーを押します。音楽ファイルがコレクションから取り除かれますが、音楽ファイルそのものはコンピュータから削除されません。

音楽ファイルの情報を編集する

1 をクリックする

ブラウザーパネルに [コレクション] ペインが表示されます。

2 の右にある をクリックする

ブラウザーパネルの左側に [コレクション] ペイン、右側に [情報] ペインが表示されます。

3 [コレクション] ペインで音楽ファイルをクリックする

[情報] ペインに [概要] タブが表示されます。

4 [情報] ペインで [情報] タブをクリックする

[情報] ペインに [情報] タブが表示されます。

5 情報を編集する

音楽ファイルの情報が変更されます。

音楽ファイルにアートワーク画像を追加する

音楽ファイルに追加できるアートワーク画像のファイル形式は、JPEG または PNG です (拡張子：“jpg”, “jpeg”, “png”)。

1 [情報] ペインで [アートワーク] タブをクリックする

2 Finder/Windows エクスプローラを開く

3 画像ファイルを Finder/Windows エクスプローラから [アートワーク] タブにドラッグする

音楽ファイルにアートワーク画像が追加されます。

音楽ファイルのタグ情報を再読み込みする

他のソフトウェアを使って更新された音楽ファイルのタグ情報を rekordbox にも反映させるには、音楽ファイルからタグ情報を再読み込みする必要があります。

1 [情報] ペインで [情報] タブをクリックする

2 [情報] タブの左上にある をクリックする

音楽ファイルのタグ情報が読み込まれます。

音楽ファイルのタグ情報を再読み込みすると、[情報] タブと [アートワーク] タブで編集した内容は再読み込みしたタグ情報に置き換わります。

iTunes ライブラリから音楽ファイルを追加する

コンピュータに iTunes がインストールされている場合には、iTunes のライブラリの音楽ファイルを解析して rekordbox の音楽コレクションとして登録できます。

1 をクリックする

ブラウザーパネルに [コレクション] ペインが表示されます。

2 の右にある をクリックする

ブラウザーパネルの左側に [コレクション] ペイン、右側に [ブリッジ] ペインが表示されます。

3 [ブリッジ] ペインのツリービューで [iTunes] の左にある をクリックしてから、[すべてのトラック] をクリックする

iTunes の音楽ファイルの一覧が [ブリッジ] ペインに表示されます。

- [ブリッジ] ペインに iTunes の音楽ファイルの一覧が表示されない場合には、[環境設定] 画面で設定してください (➡ 27ページ の「iTunes ライブラリファイル」)。

4 iTunesの音楽ファイルを [ブリッジ] ペインから [コレクション] ペインにドラッグする

音楽ファイルが [コレクション] ペインに追加されます。音楽ファイルの情報が iTunes ライブラリから読み込まれて表示され、音楽ファイルの解析が始まります (➡ 27ページ の「曲解析」)。

- [ブリッジ] ペインで iTunes の音楽ファイルを右クリックして、[コレクションに追加] を選んでも追加できます。

iTunes ライブラリの情報を再読み込みする

iTunes を使って更新された iTunes ライブラリの情報を rekordbox にも反映させるには、iTunes ライブラリの情報を再読み込みする必要があります。

1 をクリックする

ブラウザーパネルに [コレクション] ペインが表示されます。

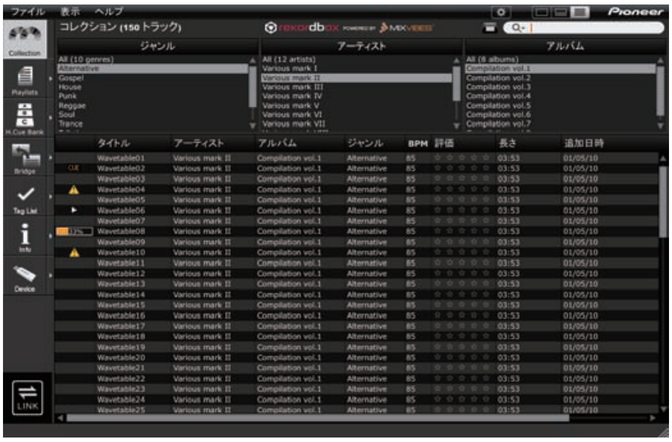
2 音楽ファイルを右クリックして、[iTunes 上の情報の読み込み] を選ぶ

iTunes ライブラリの情報が読み込まれます。

iTunes ライブラリの情報を再読み込みすると、[情報] ペインの [情報] タブで編集した内容は再読み込みした情報に置き換わります。

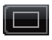
音楽ファイルを検索する

ブラウザーパネルを操作して、音楽ファイルの情報を閲覧・検索します。



プレーヤーパネルの表示 / 非表示を切り換える

画面の右上にある をクリックする

- ：プレーヤーパネルを表示します。
- ：プレーヤーパネルを簡易的に表示します。
- ：プレーヤーパネルを非表示にします。

カテゴリーフィルターを使って音楽ファイルを探す

1 をクリックする

ブラウザーパネルに [コレクション] ペインが表示されます。

2 [コレクション] ペインの上部にある をクリックする

[コレクション] ペインの上部にカテゴリーカラム ([ジャンル]、[アーティスト]、および [アルバム]) が表示されます。

3 カテゴリーを選んでクリックする

選んだカテゴリーの音楽ファイルだけが [コレクション] ペインに表示されます。

検索フィルターを使って音楽ファイルを探す

1 をクリックする
ブラウザーパネルに [コレクション] ペインが表示されます。

2 検索フィルターの左端にある をクリックする
検索できる列の名称 (項目名) のリストがポップアップされます。

3 ポップアップされたリストの中から検索したい列の名称 (項目名) を選んでクリックする

4 コンピュータのキーボードで検索フィルターに文字を入力する
手順 3 で選んだ列の中を検索範囲として、入力した文字列が含まれている音楽ファイルだけを [コレクション] ペインに表示します。
- 入力した文字を削除すると元の表示状態に戻ります。

情報をソートして音楽ファイルを探す

1 をクリックする
ブラウザーパネルに [コレクション] ペインが表示されます。

2 ソートしたい列の見出し (項目名) をクリックする

音楽ファイルの並び順が替わります。
- クリックするたびに昇順 / 降順が切り替わります。

3 コンピュータのキーボードで文字を入力する
入力した文字から始まる音楽ファイルにカーソルが移動します。
- 続けて文字を入力すると、入力した文字列から始まる音楽ファイルにカーソルが移動します。

項目名の表示 / 非表示と並び順を変更する

1 をクリックする
ブラウザーパネルに [コレクション] ペインが表示されます。

2 列の見出し (項目名) を右クリックする
表示可能な列の名称 (項目名) のリストがポップアップされます。

3 ポップアップされたリストの中から表示を切り換えたい列の名称 (項目名) を選んでクリックする
項目の表示 / 非表示が切り換わります。

4 列の見出し (項目名) をドラッグして左右に移動する
項目の並び順が替わります。

見つからない音楽ファイルのファイルパスを更新する

rekordbox は、音楽ファイルが保存されている場所の情報 (ファイルパス) を管理しています。ファイル名 / フォルダ名の変更、ファイル / フォルダの移動、またはファイル / フォルダの削除を行うと再生できなくなることがあります。(見つからない音楽ファイルの左に ⚠ が表示されます。)

1 [ファイル] メニュー > [見つからないファイルをすべて表示] を選ぶ
[見つからないファイルの管理] 画面が開いて、見つからない音楽ファイルの一覧が表示されます。

2 ファイルパスを修正したい音楽ファイルを選択して、[リロケート] をクリックする
[新しいファイルパスを選択] 画面が開きます。

3 音楽ファイルが保存されているフォルダおよびファイル名を選んで、[開く] をクリックする
音楽ファイルが保存されている場所の情報（ファイルパス）が修正されます。
- [コレクション] ペインで ⚠ が表示されている音楽ファイルを右クリックして、[リロケート] を選んでもファイルパスを修正できます。

[新しいファイルパスを選択] 画面で、誤って別の音楽ファイルを選ばないよう、ご注意ください。新しく選んだ音楽ファイルが再生されてしまいます。

音楽ファイルを試聴する

プレーヤーパネルで音楽ファイルを再生して、拍位置（ビート）とテンポ (BPM) を確認します。

拍位置を確認する（ビートグリッド）

1 画面の右上にある の をクリックする

全体波形表示の下部に拡大波形表示が表示されます。

2 音楽ファイルをブラウザーパネルからプレーヤーパネルにドラッグする

音楽ファイルがプレーヤーパネルにロードされます。

3 [▶/II] をクリックする

再生が始まります。

- BPM 表示には、音楽ファイルを追加したときに測定されたテンポが表示されます。
- 拡大波形表示には、音楽ファイルを追加したときに検出された拍位置が白色の点で表示されます（ビートグリッド）。
- 拡大波形表示には、小節の頭の拍が曲のはじめから終わりまで 4 拍ごとにビートグリッド上に赤色の点で表示されます。

古いバージョンの rekordbox（1.x.x）で追加した音楽ファイルにはが表示されます。新しいバージョンの rekordbox (2.x.x) で音楽ファイルの解析をやり直すとの表示が消えます（➡ 14ページ の「拍位置の検出およびテンポの測定をやり直す」）。

拍位置を調整する（アジャストビートグリッド）

ビートグリッドを以下の手順で修正できます。

1 再生中に [▶/II] をクリックする

再生が一時停止します。

2 拡大波形表示を左右にドラッグする

拡大波形表示の中心にある白い垂直線に拍位置（ビート）が合うように調整します。

- 一時停止中に [◀◀] または [▶▶] をクリックすると、一時停止している位置をフレーム単位で左右に移動できます。
- [+/ 🔍 /–] を使って、拡大波形表示をズームしてからドラッグすると、一時停止している位置をミリ秒単位で左右に移動できます。

3 拡大波形表示の右下にある をクリックする

拡大波形表示の下部にビートグリッド調整メニューのアイコンが表示されます。
ビートグリッドが白色の点から青色の縦線に変わり、編集できるようになります。

4 をクリックする

拡大波形表示の中央の白い垂直線を基準にして、ビートグリッド全体がスライドします。

- 任意の位置より後のビートグリッドをスライドしたい場合は、 をクリックします。この操作を行うと、白い垂直線より前のビートグリッドは固定され、白い垂直線より後のビートグリッドだけがスライドします。

5 拡大波形表示の右下にある をクリックする

ビートグリッド調整メニューが閉じます。
ビートグリッドの表示が白色の点に戻ります。

❖ その他のアイコン (ビートグリッド調整メニュー)

	ビートグリッドを左に 1 msec 移動します。
	ビートグリッドを右に 1 msec 移動します。
	ビートグリッドの間隔を 1 msec 縮めます。
	ビートグリッドの間隔を 1 msec 広げます。
	拍数 (BPM) を 2 倍にします (ビートグリッドの間隔は 1/2 倍に縮まります)。
	拍数 (BPM) を 1/2 倍にします (ビートグリッドの間隔は 2 倍に広がります)。
	ビートグリッドを調整するための基準を一時的にマークします。マークより後ろのビートグリッドだけが、マークを基準にしてスライドします。マークより前のビートグリッドは白色の点、マークより後ろのスライドしたビートグリッドは青色の縦線で表示されます。 マークを解除するまでは、ビートグリッド調整メニューでの操作はマークより後ろの青色の縦線のビートグリッドだけに反映されます。
	ビートグリッドを調整するために一時的にマークした基準を解除します。マークを解除すると、音楽ファイル全体のビートグリッドの表示が青色の縦線に戻ります。ビートグリッド調整メニューでの操作は、音楽ファイル全体のビートグリッドに反映されます。
	拡大波形表示の中央の白い縦線に最も近い拍の位置を小節の頭の拍として、赤い線で表示します。この小節の頭の拍を表す赤い線は、曲の先頭から最後まで 4 拍ごとにビートグリッド上に表示されます。
	ビートグリッド調整メニューでの操作を元に戻します。10 回前の操作まで戻ることができます。
	ビートグリッドに合せてメトロノーム音を鳴らしながら再生します。メトロノーム音のオン / オフと音量（大、中、小）を切り換えられます。
123.45 BPM	入力した拍数 (BPM) に応じてビートグリッドの間隔が変化します。

拍位置の検出およびテンポの測定をやり直す

1 [ファイル] メニュー > [環境設定] を選んで [環境設定] 画面を開き、曲解析モードを設定する

音楽ファイルの波形情報を解析するモードとして [ノーマル] と [ダイナミック] の 2 つの選択肢があります (➡ 27ページ の「曲解析」)。

2 拍位置 (ビート) の検出およびテンポ (BPM) を測定したい音楽ファイルを右クリックして、[トラックを解析] を選ぶ

音楽ファイルの波形情報が解析されます。拍位置の検出およびテンポが測定されてコンピュータに保存されます。

> 音楽ファイルの解析をやり直すと、「拍位置を調整する (アジャストビートグリッド)」で設定したビートグリッドが、[トラックを解析] で新しく解析されたビートグリッドで上書きされます。

ビートグリッドを利用する (クオンタイズ)

プレーヤーパネルでキューやループを設定するときに、キューポイントやループポイントが拍位置（ビート）からずれることなく簡単に設定できます。

1 プレーヤーパネルの [QUANTIZE] をクリックする

プレーヤーパネルの [**QUANTIZE**] が点灯します。

2 キューやループを設定する

➡ 15ページ の「キューまたはループを設定する」

❖ DJ プレーヤーや DJ ミキサーでクオンタイズ機能を使って演奏する

rekordbox を使って検出および調整した音楽ファイルのビートグリッドは、DJ プレーヤー（CDJ-2000nexus、CDJ-2000、CDJ-900、XDJ-AERO、XDJ-R1 など）でキュー操作やループ演奏時のクオンタイズ機能で使用されます。さらに、DJ プレーヤー（CDJ-2000nexus、CDJ-2000、CDJ-900 など）と DJ ミキサー（DJM-2000nexus、DJM-2000、DJM-900nexus など）が LAN ケーブルで接続されている場合、エフェクト演奏時のクオンタイズ機能で使用できます。

- DJ プレーヤーや DJ ミキサーでのクオンタイズ機能の使用方法については、各 DJ 機器の取扱説明書をご覧ください。

キーを検出する

キー (音階) を検出したい音楽ファイルを右クリックして、[キーを検出] を選ぶ

音楽ファイルの波形情報が解析されます。検出したキーは、[コレクション] ペインや [情報] ペインで確認できます (➡ 10ページ の「音楽ファイルの情報を編集する」)。

> 音楽ファイルをコレクションに追加するときに同時にキー (音階) を検出することもできます (➡ 27ページ の「インポート時にキーを検出」)。

キューまたはループを設定する

頭出しのポイント (キューポイント) またはループ再生のポイント (ループイン / ループアウト) を設定します。

キューポイントを設定する

1 再生中に [▶/❚❚] をクリックする

再生が一時停止します。

- 一時停止中に [◀◀] または [▶▶] をクリックすると、一時停止している位置をフレーム単位で左右に移動できます。
- [+/ 🔍 /–] を使って、拡大波形表示をズームしてからドラッグすると、一時停止している位置をミリ秒単位で左右に移動できます。

2 [CUE] をクリックする

一時停止していた位置が、キューポイントに設定されます。[CUE] が点灯し、[▶/❚❚] が点滅します。

- [▶/❚❚] をクリックすると、キューポイントから再生が始まります。
- 新しいキューポイントを設定すると、以前に設定したキューポイントは解除されます。
- 別の音楽ファイルがプレーヤーパネルにロードされると、設定していたキューポイントは解除されます。設定したキューポイントは保存することもできます (➡ 16ページ の「キューまたはループを保存する」)。

キューポイントに戻る (バックキュー)

再生中に [CUE] をクリックする

設定されているキューポイントに瞬時に戻り、頭出しされて一時停止状態になります。[CUE] が点灯し、[▶/❚❚] が点滅します。

- [▶/❚❚] をクリックすると、キューポイントから再生が始まります。

キューポイントを確認する (キューポイントサンプラー)

キューポイントに戻ったあと [CUE] を押し続ける (マウスの左ボタンを押したまま離さない)

キューポイントから再生が始まります。
[CUE] を押し続けている間だけ再生が続き、離すとキューポイントに戻って一時停止状態になります。

再生しながらキューポイントを設定する (リアルタイムキュー)

再生中にキューポイントに設定したい位置で [LOOP IN] をクリックする

クリックしたときに再生しているポイントがキューポイントに設定されます。

> プレーヤーパネルの [QUANTIZE] をクリックすると点灯します。
> プレーヤーパネルの [QUANTIZE] を点灯させてからリアルタイムキューを設定すると、[LOOP IN] をクリックしたときに再生しているポイントに近いビートグリッドに、キューポイントを自動で合わせます。

ループ再生を開始する

1 再生中にループ再生を始めたい位置 (ループインポイント) で [LOOP IN] をクリックする

クリックしたときに再生しているポイントがループインポイントに設定されます。

- あらかじめ設定されているキューポイントをループインポイントにするときは、この操作は必要ありません。

2 ループ再生を終わりたい位置 (ループアウトポイント) で [LOOP OUT] をクリックする

クリックしたときに再生しているポイントがループアウトポイントに設定され、ループインポイントに戻ってループ再生が始まります。

- 新しいループポイントを設定すると、以前に設定したループポイントは解除されます。
- 別の音楽ファイルがプレーヤーパネルにロードされると、設定していたループポイントは解除されます。設定したループポイントは保存することもできます (➡ 16ページ の「キューまたはループを保存する」)。

> プレーヤーパネルの [QUANTIZE] をクリックすると点灯します。
> プレーヤーパネルの [QUANTIZE] を点灯させてからループを設定すると、[LOOP IN] および [LOOP OUT] をクリックしたときに再生しているポイントに近いビートグリッドに、ループポイントを自動で合わせます。

ループ再生を解除する (ループイグジット)

ループ再生中に [RELOOP] をクリックする

ループアウトポイントになってもループインポイントには戻らずに、そのまま再生が続きます。

ループ再生を再開する (リループ)

ループ再生を解除したあと、再生中に [RELOOP] をクリックする

前回設定したループインポイントに戻り、ループ再生が始まります。

ループの長さを拍数で指定する (オートビートループ)

再生している音楽ファイルの BPM に合わせて、4 拍、8 拍、16 拍、または 32 拍の長さのループ再生が始まります。

再生中に [4]、[8]、[16]、または [32] をクリックする

クリックしたときに再生しているポイントがループインポイントに設定され、選択された拍数でループアウトポイントが設定されます。

- ループ再生中にオートビートループを設定すると、ループインポイントはそのままでループアウトポイントだけが移動します。

> プレーヤーパネルの [QUANTIZE] をクリックすると点灯します。
> プレーヤーパネルの [QUANTIZE] を点灯させてからオートビートループを設定すると、[4]、[8]、[16]、または [32] をクリックしたときに再生しているポイントに近いビートグリッドに、ループポイントを自動で合わせます。

キューまたはループを保存する

設定したキューポイントやループポイントを保存しておき、あとから呼び出せます。保存できるキューポイントまたはループポイントは、1 つの音楽ファイルにつき最大 10 個です。
保存されたキューポイントやループポイントは DJ プレーヤー（CDJ-2000nexus、CDJ-2000、CDJ-900、CDJ-850、MEP-4000 など）で呼び出して演奏できます。

設定したキューまたはループを保存する

1 キューポイントまたはループポイントを設定する

2 [MEMORY] をクリックする

保存されたポイントが**キュー / ループ呼び出し**ボタンに表示されます。

- ループポイントを保存するときは、ループ再生中に [MEMORY] をクリックします。**キュー / ループ呼び出し**ボタンにループポイントが表示されます。

保存されたキューまたはループを呼び出す

1 キューポイントまたはループポイントを呼び出したい音楽ファイルをプレーヤーパネルにロードする

キュー / ループ呼び出しボタンにキューポイントまたはループポイントが表示されます。

2 頭出ししたいキュー / ループ呼び出しボタンをクリックする

選んだポイントで頭出しされて一時停止状態になります。

3 [▶/II] をクリックする

再生またはループ再生が始まります。

- 保存されているキューポイントまたはループポイントを削除するときは、削除したい**キュー / ループ呼び出し**ボタンの右にある [×] をクリックします。

❖ 保存したループをアクティブループに設定する

保存されたループを呼び出すと [MEMORY] の表示が [ACTIVE] に変わります。保存されたループの一つをアクティブループに設定するには [ACTIVE] をクリックしてください。

- アクティブループが保存されているキュー / ループ呼び出しボタンはハイライトで表示されます。
- アクティブループの利用のしかたについては、各 DJ プレーヤー（CDJ-2000nexus など) の取扱説明書をご覧ください。

❖ ループを切り出して WAVE ファイルとして保存する

ループを切り出して WAVE ファイルとして保存するにはループ再生中にプレーヤーパネルの拡大波形表示を右クリックして、[**ループを WAV ファイルとして保存**] を選んでください。

- 切り出されたループ素材が WAVE ファイル (サンプリング周波数 48 kHz/ 量子化 16 bit) として保存されるとともに、rekordbox の音楽コレクションに追加されます。保存時に指定した WAVE ファイルのファイル名が、[**コレクション**] ペインのタイトル欄に表示されます。
- 保存されたループ素材（WAVE ファイル）の利用のしかたについては、各 DJ 機器（RMX-1000、XDJ-AERO など）の取扱説明書をご覧ください。

ホットキューを記録する

キューポイントやループポイントをホットキューに記録しておき、瞬時に再生が始められます。記録できるホットキューは、1 つの音楽ファイルにつき最大 3 個です。
記録されたホットキューは、DJ プレーヤー（CDJ-2000nexus、CDJ-2000、XDJ-R1 など）で呼び出して演奏できます。

キューまたはループをホットキューに記録する

再生中または一時停止中にホットキューに記録したい位置で、[HOT CUE] (A、B、C) のいずれかをクリックする

クリックしたときに再生 (または一時停止) しているポイントがホットキューとして記録されます。記録されたポイントが [HOT CUE] に表示されます。

- ループ再生中に [HOT CUE] をクリックすると、再生中のループポイントがホットキューとして記録されます。

プレーヤーパネルの [QUANTIZE] をクリックすると点灯します。 プレーヤーパネルの [QUANTIZE] を点灯させてからホットキューを設定すると、[HOT CUE] をクリックしたときに再生しているポイントに近いビートグリッドに、ホットキューポイントを自動で合わせます。

記録されたホットキューを呼び出して再生する

記録されたポイントが表示されている [HOT CUE] をクリックする

そのボタンに記録されているポイントから瞬時に再生が始まります。

- 記録されているポイントを削除するときは、削除したい [HOT CUE] の右にある [×] をクリックします。

すでに保存されているキューまたはループを呼び出してホットキューに記録する

1 キューポイントまたはループポイントが保存されている音楽ファイルをプレーヤーパネルにロードする

キュー / ループ呼び出しボタンにキューポイントまたはループポイントが表示されます。

2 ホットキューに記録したいキュー / ループ呼び出しボタンをクリックする

選んだポイントで頭出しされて一時停止状態になります。

3 記録したい [HOT CUE] (A、B、C) のいずれかをクリックする

記録されたポイントが [HOT CUE] に表示されます。

プレイリストを使って音楽ファイルを整理する

DJ プレイの用途に応じたプレイリストを作って、rekordbox の音楽コレクションを整理しておくことができます。

新たにプレイリストを作成する

1 **をクリックする**

ブラウザーパネルに [プレイリスト] ペインが表示されます。

2 [プレイリスト] フォルダの右にある **をクリックする**

[プレイリスト] フォルダの下に [無題のプレイリスト] が追加されます。

- [プレイリスト] フォルダを右クリックして、[新規プレイリストを作成] を選んでも追加できます。

3 コンピュータのキーボードでプレイリスト名を入力して、[Enter] キーを押す

プレイリスト名が変更されます。

4 **の右にある** **をクリックする**

ブラウザーパネルの左側に [プレイリスト] ペイン、右側に [コレクション] ペインが表示されます。

5 音楽ファイルを [コレクション] ペインから [プレイリスト] ペインにドラッグする

音楽ファイルがプレイリストに追加されます。

- [ブリッジ] ペイン、[タグリスト] ペイン、または他のプレイリストから音楽ファイルをドラッグしても追加できます。
- プレイリストを削除するときは、プレイリストを選んでからコンピュータのキーボードで [Delete] キーを押します。
- プレイリストから音楽ファイルを取り除くときは、音楽ファイルを選んでからコンピュータのキーボードで [Delete] キーを押します。

プレイリストファイルを読み込んでプレイリストを追加する

読み込めるプレイリストのファイル形式は、M3U または PLS です (拡張子 : "m3u", "pls")。

1 **をクリックする**

ブラウザーパネルに [プレイリスト] ペインが表示されます。

2 [ファイル] メニュー > [インポート] > [プレイリスト] を選ぶ

[プレイリストをインポート] 画面が開きます。

3 プレイリストファイルが保存されているフォルダおよびファイル名を選んで、[開く] をクリックする

プレイリストが [プレイリスト] ペインに追加されます。

プレイリストを構成する音楽ファイルのタグ情報が読み込まれて表示され、音楽ファイルの解析が始まります (➡ 27ページ の「曲解析」)。

iTunes ライブラリからプレイリストを追加する

コンピュータに iTunes がインストールされている場合には、iTunes のライブラリのプレイリストをインポートして rekordbox のプレイリストとして登録できます。

1 **をクリックする**

ブラウザーパネルに [プレイリスト] ペインが表示されます。

2 **の右にある** **をクリックする**

ブラウザーパネルの左側に [プレイリスト] ペイン、右側に [ブリッジ] ペインが表示されます。

3 [ブリッジ] ペインのツリービューで [iTunes] の左にある **をクリックしてから、[プレイリスト] の左にある** **をクリックする**

iTunes のプレイリストの一覧が [ブリッジ] ペインに表示されます。

- [ブリッジ] ペインのツリービューに iTunes のプレイリストの一覧が表示されない場合には、[環境設定] 画面で設定してください (➡ 27ページ の「iTunes ライブラリファイル」)。

4 iTunes のプレイリストを [ブリッジ] ペインから [プレイリスト] ペインにドラッグする

プレイリストが [プレイリスト] ペインに追加されます。

プレイリストを構成する音楽ファイルの情報が iTunes から読み込まれて表示され、音楽ファイルの解析が始まります (➡ 27ページ の「曲解析」)。

- [ブリッジ] ペインのツリービューで iTunes のプレイリストを右クリックして、[プレイリストをインポート] を選んでも追加できます。

iTunes のプレイリストと同じように、XML 形式のプレイリストライブラリを [ブリッジ] ペインで表示して、プレイリストを [プレイリスト] ペインに追加することができます。XML 形式のプレイリストライブラリを表示させるには、[環境設定] 画面で XML ファイルの場所を指定してください (➡ 27ページ の「インポートされているライブラリ」)。

フォルダを使ってプレイリストを整理する

1 をクリックする

ブラウザーパネルに [プレイリスト] ペインが表示されます。

2 [プレイリスト] フォルダを右クリックして、[新規フォルダを作成] を選ぶ

[プレイリスト] フォルダの下に [新しいフォルダ] が追加されます。

3 コンピュータのキーボードでフォルダ名を入力して、[Enter] キーを押す

4 作成したフォルダにプレイリストをドラッグする

作成したフォルダの下にプレイリストが移動します。

- フォルダを削除するときは、フォルダを選んでからコンピュータのキーボードで [Delete] キーを押します。フォルダに含まれているプレイリストおよびフォルダがすべて削除されます。

プレイリストにアートワーク画像を追加する

プレイリストに追加できるアートワーク画像のファイル形式は、JPEG または PNG です (拡張子 : "jpg", "jpeg", "png")。

1 プレイリストを右クリックして、[アートワークを追加] を選ぶ

[アートワークを追加] 画面が開きます。

2 画像ファイルが保存されているフォルダおよびファイル名を選んで、[開く] をクリックする

プレイリストにアートワーク画像が追加されます。

- 追加されたアートワーク画像は、プレイリストを右クリックするとポップアップされます。

プレイリストの曲順を変更する

1 曲順の番号が表示されている列の見出しをクリックする

クリックするたびに昇順 / 降順が切り替わります。

2 音楽ファイルをドラッグして、順番を並べ替える

- 曲順以外でソートしているときは、音楽ファイルをドラッグしても曲順は変更できません。

❖ 音楽ファイルの情報を使って曲順を並べ替える

1 ソートしたい列の見出し (項目名) をクリックする

クリックするたびに昇順 / 降順が切り替わります。

2 項目名を右クリックして、[曲順をリナンバする] を選ぶ

ソートされている並び順に従って曲順がリナンバされます。

プレイリストの情報をテキストファイルに保存する

1 プレイリストを右クリックして、[情報をテキストファイルに保存する] を選ぶ

[情報をテキストファイルに保存する] 画面が開きます。

2 保存する場所 (フォルダ) を選択してから、ファイル名を入力して [保存] をクリックする

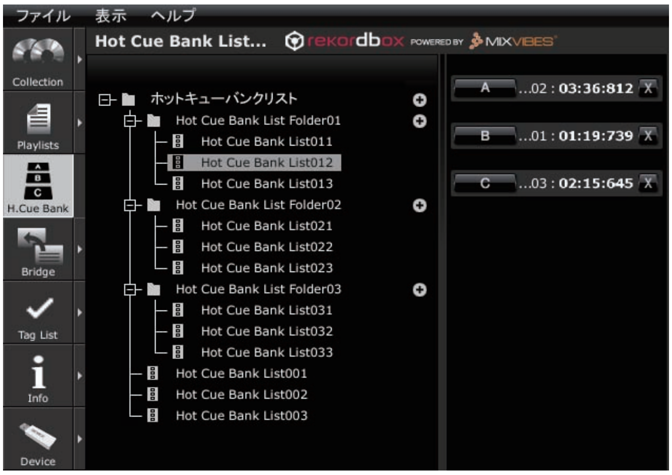
指定したフォルダ内に指定した名称でテキストファイルが作成されます。

> テキストファイルには [プレイリスト] ペインに表示されているプレイリストの情報が保存されます。
> [プレイリスト] ペインの列 (項目名) の表示 / 非表示を切り換えたり、列 (項目名) を並べ替えたりすることにより、テキストファイルに保存されるプレイリストのフォームをカスタマイズすることができます (➡ 12ページ の「項目名の表示 / 非表示と並び順を変更する」)。

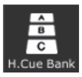
ホットキューバンクリストを使ってホットキューを整理する

CDJ-2000nexus CDJ-2000

３つのホットキューバンクには、それぞれ別々の音楽ファイルのポイント情報を登録できます。３つのホットキューバンク (**A**、**B**、**C**) の組み合わせをホットキューバンクリストと呼びます。
複数のホットキューバンクリストを DJ プレーヤーに繰り返しロードすることによって、DJ プレーヤー上で多くのホットキューの組み合わせを使った多彩な DJ パフォーマンスが実現できます。
- 一部の DJ プレーヤー（CDJ-900、CDJ-850、CDJ-350、MEP-4000、XDJ-AERO、XDJ-R1 など）では、ホットキューバンクリストを DJ プレーヤーにロードできません。



新たにホットキューバンクリストを作成する

1  をクリックする

ブラウザーパネルに [ホットキューバンクリスト] ペインが表示されます。

2 [ホットキューバンクリスト] フォルダの右にある ⊕ をクリックする

[ホットキューバンクリスト] フォルダの下に [無題のホットキューバンクリスト] が追加されます。
- [ホットキューバンクリスト] フォルダを右クリックして、[新規ホットキューバンクリストを作成] を選んでも追加できます。

3 コンピュータのキーボードでリスト名を入力して、[Enter] キーを押す

ホットキューバンクリスト名が変更されます。
- ホットキューバンクリストを削除するときは、ホットキューバンクリストを選んでからコンピュータのキーボードで [Delete] キーを押します。

キューまたはループをホットキューバンクに登録する

再生中または一時停止中にホットキューバンクに登録したい位置で、ホットキューバンクボタン (A、B、C) のいずれかをクリックする

クリックしたときに再生（または一時停止）しているポイントが、**ホットキューバンク**として登録されます。登録されたポイントが**ホットキューバンク**ボタンに表示されます。
- ループ再生中に**ホットキューバンク**ボタンをクリックすると、再生中のループポイントが**ホットキューバンク**として登録されます。

登録されたホットキューバンクを確認する

登録されたポイントが表示されているホットキューバンクボタンをクリックする

そのボタンにポイントが登録されている音楽ファイルがプレーヤーパネルにロードされ、登録されているポイントから再生が始まります。
- 登録されているポイントを削除するときは、削除したい**ホットキューバンク**ボタンの右にある [**×**] をクリックします。

すでに保存されているキューまたはループを呼び出してホットキューバンクに登録する

1 キューポイントまたはループポイントが保存されている音楽ファイルをプレーヤーパネルにロードする

キュー / ループ呼び出しボタンにキューポイントまたはループインポイントが表示されます。

2 ホットキューバンクに登録したいキュー / ループ呼び出しボタンをクリックする

選んだポイントで頭出しされて一時停止状態になります。

3 登録したいホットキューバンクボタン (A、B、C) のいずれかをクリックする

登録されたポイントが**ホットキューバンク**ボタンに表示されます。

すでに記録されているホットキューを呼び出してホットキューバンクに登録する

1 ホットキューが記録されている音楽ファイルをプレーヤーパネルにロードする

記録されているポイントが [HOT CUE] に表示されます。

2 音楽ファイルを再生しているときは [▶/❚❚] をクリックする

再生が一時停止します。

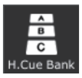
3 ホットキューバンクに登録したい [HOT CUE] をクリックする

選んだポイントで頭出しされて一時停止状態になります。

4 登録したいホットキューバンクボタン (A、B、C) のいずれかをクリックする

登録されたポイントが**ホットキューバンク**ボタンに表示されます。

フォルダを使ってホットキューバンクリストを整理する

1  をクリックする

ブラウザーパネルに [ホットキューバンクリスト] ペインが表示されます。

2 [ホットキューバンクリスト] フォルダを右クリックして、[新規フォルダを作成] を選ぶ

[ホットキューバンクリスト] フォルダの下に [新しいフォルダ] が追加されます。

3 コンピュータのキーボードでフォルダ名を入力して、[Enter] キーを押す

4 作成したフォルダにホットキューバンクリストをドラッグする

作成したフォルダの下にホットキューバンクリストが移動します。

- フォルダを削除するときは、フォルダを選んでからコンピュータのキーボードで [Delete] キーを押します。フォルダに含まれているホットキューバンクリストおよびフォルダがすべて削除されます。

ホットキューバンクリストにアートワーク画像を追加する

追加できるアートワーク画像のファイル形式は、JPEG または PNG です (拡張子 : "jpg", "jpeg", "png")。

1 ホットキューバンクリストを右クリックして、[アートワークを追加] を選ぶ

[アートワークを追加] 画面が開きます。

2 画像ファイルが保存されているフォルダおよびファイル名を選んで、[開く] をクリックする

ホットキューバンクリストにアートワーク画像が追加されます。

- 追加されたアートワーク画像は、ホットキューバンクリストを右クリックするとポップアップされます。

DJ 機器を使って演奏する

USB デバイスを使って演奏する

CDJ-2000nexus CDJ-2000 CDJ-900 CDJ-850 CDJ-350 MEP-4000 XDJ-AERO XDJ-R1

DJ ブースにコンピュータを持ち込まずに、USB デバイス (フラッシュメモリーやハードディスク) を使って、rekordbox の音楽ファイルやデータを DJ プレーヤーと受け渡しできます。

- パイオニア製 DJ プレーヤーで読み込みおよび再生できる音楽ファイル (ファイル形式) については、各 DJ プレーヤーの取扱説明書をご覧ください。
- 一部の DJ プレーヤー (CDJ-2000nexus や CDJ-2000 など) では、USB デバイスの代わりに SD メモリーカードを使えます。
- 一部の DJ プレーヤー（CDJ-900、CDJ-850、CDJ-350、MEP-4000、XDJ-AERO、XDJ-R1 など) では、ホットキューバンクリストを DJ プレーヤーにロードできません。

コンピュータに USB デバイスを接続する

1 コンピュータに USB デバイスを差し込む

- 一部の DJ プレーヤー (CDJ-2000nexus や CDJ-2000 など) では、USB デバイスの代わりに SD メモリーカードを使えます。

2 をクリックする

ブラウザーパネルに [デバイス] ペインが表示されます。

3 演奏に使う USB デバイスの をクリックする

[デバイス] ペインに USB デバイスの設定内容が表示されます。

❖ 無線 LAN (Wi-Fi®) 対応のモバイルデバイスを接続する

[デバイス] ペインでは、USB デバイスや SD メモリーカードのほかにも、無線 LAN（Wi-Fi®）対応のモバイルデバイス（iPhone や Android™ 端末など）に rekordbox の音楽ファイルを転送できます。

モバイルデバイス上であらかじめモバイルデバイス用の rekordbox を通信待機状態にしてから、[デバイス] ペインの左下にある をクリックしてください。コンピュータの周辺にあるモバイルデバイスが検出されてリンクが確立すると、[デバイス] ペインにモバイルデバイスの名前が表示されます。

- モバイルデバイス上の rekordbox との連携機能や操作方法については、rekordbox のオンラインサポートでご案内しています（➡ 31ページ の「オンラインサポートのご利用について」）。

❖ USB デバイスの設定内容

USB デバイスごとに設定を変更できます。

一般	デバイス名	DJ プレーヤーにセットしたときに表示される名前を設定します。
	背景色	DJ プレーヤーにセットしたときに表示される背景色を設定します。
カテゴリー	DJ プレーヤーで使用するカテゴリー項目と表示順序を指定します。DJ プレーヤーでのライブラリブラウズの使用方法については、各 DJ プレーヤーの取扱説明書をご覧ください。	
ソート	DJ プレーヤーで使用する並び替え項目と表示順序を指定します。DJ プレーヤーでのライブラリブラウズの使用方法については、各 DJ プレーヤーの取扱説明書をご覧ください。	
コラム	DJ プレーヤー (CDJ-2000nexus など) の本体表示部で音楽ファイルをブラウズする際に、タイトルのすぐ右側に表示さたいユーザー設定カテゴリーを 1 つ指定します。	
カラー	DJ プレーヤーで音楽ファイルを 8 色のカテゴリーで分類するときの色分けについてコメントを編集できます。DJ プレーヤーでのライブラリブラウズの使用方法については、各 DJ プレーヤーの取扱説明書をご覧ください。	

音楽ファイルを USB デバイスに転送する

1 をクリックする

ブラウザーパネルに [デバイス] ペインが表示されます。

2 音楽ファイルを転送したい の左にある をクリックしてから、[すべてのトラック] をクリックする

3 の右にある をクリックする

ブラウザーパネルの左側に [デバイス] ペイン、右側に [コレクション] ペインが表示されます。

4 音楽ファイルを [コレクション] ペインから [デバイス] ペインにドラッグする

音楽ファイルおよび音楽ファイルに付随する情報が USB デバイスに転送されます。

- [ブリッジ] ペインから [デバイス] ペインに音楽ファイルをドラッグしても転送できます。
- USB デバイスから音楽ファイルを削除するときは、[デバイス] ペインで音楽ファイルを選んでからコンピュータのキーボードで [Delete] キーを押します。

> 一部の DJ プレーヤー (MEP-4000、XDJ-R1 など) では、USB デバイスに音楽ファイルを転送するだけではなく、USB デバイス内に専用のライブラリ (コレクションやプレイリストなどのデータベース) をクリエイトする必要があります（➡ 28ページ の「選択した機器用のライブラリを作成」）。

❖ DJ プレーヤーや DJ ミキサーでクオンタイズ機能を使って演奏する

rekordbox を使って検出および調整した音楽ファイルのビートグリッドは、DJ プレーヤー（CDJ-2000nexus、CDJ-2000、CDJ-900、XDJ-AERO、XDJ-R1 など）でキュー操作やループ演奏時のクオンタイズ機能で使用されます。さらに、DJ プレーヤー（CDJ-2000nexus、CDJ-2000、CDJ-900 など）と DJ ミキサー（DJM-2000nexus、DJM-2000、DJM-900nexus など）が LAN ケーブルで接続されている場合、エフェクト演奏時のクオンタイズ機能で使用できます。

- DJ プレーヤーや DJ ミキサーでのクオンタイズ機能の使用方法については、各 DJ 機器の取扱説明書をご覧ください。

❖ 複数の DJ プレーヤー間でビートシンク機能を使って演奏する

rekordbox を使って検出および調整した音楽ファイルのビートグリッドを使うと、PRO DJ LINK で接続された複数の DJ プレーヤー (CDJ-2000nexus など) の間や左右のデッキ（XDJ-AERO や XDJ-R1 など）の間でテンポ（BPM）と拍位置 (ビート) を同期させたミキシングができます。

- DJ プレーヤーでのビートシンク機能の使用方法については、各 DJ プレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

❖ DJ プレーヤーでホットキューを使って演奏する

音楽ファイルに記録されているホットキュー (A、B、C) を DJ プレーヤー (CDJ-2000nexus や CDJ-2000、XDJ-R1 など) で呼び出して再生することができます。

- 音楽ファイルに記録されているホットキュー（A、B、C）を DJ プレーヤーで使用する方法については、各 DJ プレーヤーの取扱説明書をご覧ください。
- 一部の DJ プレーヤー (CDJ-2000nexus、XDJ-R1 など) では、音楽ファイルを選曲して DJ プレーヤーにロードすると同時に、ロードされた音楽ファイルに記録されているホットキュー (A、B、C) で DJ プレーヤーのホットキュー (A、B、C) を強制的に置き換えてしまうこともできます（➡ 27ページ の「インポート時、CDJ にホットキューを自動ロードするように設定」）。
- 異なる音楽ファイルのホットキュー の組み合わせ (A、B、C) を使って演奏する場合には、ホットキューバンクリストを作成して USB デバイスに転送しておく必要があります。

プレイリストを USB デバイスに転送する

1 [Device] をクリックする

ブラウザーパネルに [デバイス] ペインが表示されます。

2 プレイリストを転送したい [■] の左にある [⊞] をクリックしてから、[プレイリスト] フォルダの左にある [⊞] をクリックする

3 [Playlists] の右にある [▸] をクリックする

ブラウザーパネルの左側に [デバイス] ペイン、右側に [プレイリスト] ペインが表示されます。

4 プレイリストを [プレイリスト] ペインから [デバイス] ペインにドラッグする

プレイリストおよびプレイリストを構成する音楽ファイルがUSBデバイスに転送されます。

- [ブリッジ] ペインから [デバイス] ペインにプレイリストをドラッグしても転送できます。
- USB デバイスからプレイリストを削除するときは、[デバイス] ペインでプレイリストを選んでからコンピュータのキーボードで [Delete] キーを押します。

> USB デバイスを接続して演奏する DJ プレーヤーによっては、USB デバイス内のプレイリストの名称やフォルダの階層に制約があります。USB デバイスを接続して演奏する際の制約については、各 DJ プレーヤー（MEP-4000、XDJ-R1 など）の取扱説明書をご覧ください。

ホットキューバンクリストをUSBデバイスに転送する

CDJ-2000nexus CDJ-2000

> 異なる音楽ファイルのホットキュー の組み合わせ (A、B、C) を使って演奏する場合には、あらかじめホットキューバンクリストを作成しておく必要があります（➡ 19ページ の「ホットキューバンクリストを使ってホットキューを整理する」）。

1 [Device] をクリックする

ブラウザーパネルに [デバイス] ペインが表示されます。

2 ホットキューバンクリストを転送したい [■] の左にある [⊞] をクリックしてから、[ホットキューバンクリスト] フォルダの左にある [⊞] をクリックする

3 [H.Cue Bank] の右にある [▸] をクリックする

ブラウザーパネルの左側に [デバイス] ペイン、右側に [ホットキューバンクリスト] ペインが表示されます。

4 ホットキューバンクリストを [ホットキューバンクリスト] ペインから [デバイス] ペインにドラッグする

ホットキューバンクリストおよびホットキューバンクリストを構成する音楽ファイルが USB デバイスに転送されます。

- USB デバイスからホットキューバンクリストを削除するときは、[デバイス] ペインでホットキューバンクリストを選んでからコンピュータのキーボードで [Delete] キーを押します。

コンピュータから USB デバイスを取り外す

1 [Device] をクリックする

ブラウザーパネルに [デバイス] ペインが表示されます。

2 コンピュータから取り外したい [■] の右にある [⏏] をクリックする

3 コンピュータから USB デバイスを取り外す

- コンピュータから取り外したい [■] を右クリックして、[USB デバイスを取り外す] を選んでも取り外せます。

> [環境設定] 画面で [選択した機器用のライブラリを作成] に設定されている場合は [■] の右にある [⏏] は [🗋➔⏏] が表示されます。[🗋➔⏏] をクリックするとMEP-4000 専用または XDJ-R1 専用のライブラリの作成が始まるので、終わるのを待ってからコンピュータから USB デバイスを取り外してください（➡ 28ページ の「選択した機器用のライブラリを作成」）。

DJ プレーヤーに USB デバイスを接続して演奏する

DJ ブースに USB デバイス (フラッシュメモリーやハードディスク) を持ち込んで、rekordbox の音楽ファイルやデータを DJ プレーヤーと受け渡しできます。

- 一部の DJ プレーヤー (CDJ-2000nexus や CDJ-2000 など) では、USB デバイスの代わりに SD メモリーカードを使えます。
- 一部の DJ プレーヤー（CDJ-900、CDJ-850、CDJ-350、MEP-4000、XDJ-AERO、XDJ-R1 など）では、ホットキューバンクリストを DJ プレーヤーにロードできません。
- 一部の DJ プレーヤー (MEP-4000、XDJ-R1 など) では、USB デバイス内のフォルダやプレイリストを表示する際に制約があります。
- DJ プレーヤーへの USB デバイスのセッティングや USB デバイスを使った演奏操作については、各 DJ プレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

DJ プレーヤーで演奏した曲順を元にプレイリストを作成する

CDJ-2000nexus CDJ-2000 CDJ-900 CDJ-850 CDJ-350

1 DJ プレーヤーでの演奏に使った USB デバイスをコンピュータにセットする

USB デバイスに DJ プレーヤーでの演奏履歴が記録されているときは、[演奏履歴をプレイリストとして保存] 画面が開きます。

2 [はい] をクリックする

演奏履歴の曲順を元にプレイリスト (例：HISTORY 2010y12m31d) が作成され、[プレイリスト] ペインに追加されます。

- プレイリストが作成されると、USB デバイスに記録されている演奏履歴が消去されます。

❖ [演奏履歴をプレイリストとして保存] 画面で [いいえ] を選んだとき

プレイリストとして保存されていない演奏履歴は、USB デバイスから消去されずに残っています。残っている演奏履歴は [デバイス] ペインで確認できます。

1 をクリックする

ブラウザーパネルに [デバイス] ペインが表示されます。

2 [演奏履歴] フォルダの左にある ⊞ をクリックする

DJ プレーヤーでの演奏履歴の一覧が [デバイス] ペインに表示されます。

3 保存したい演奏履歴を右クリックして、[プレイリストとして保存] を選ぶ

演奏履歴の曲順を元にプレイリスト (例：HISTORY 2010y12m31d) が作成され、[プレイリスト] ペインに追加されます。

- プレイリストが作成されると、USB デバイスに記録されている演奏履歴が消去されます。

DJ プレーヤーで更新した音楽ファイルの情報を読み込む

CDJ-2000nexus CDJ-2000 CDJ-900 CDJ-850 MEP-4000 XDJ-R1

1 DJ プレーヤーでの演奏に使った USB デバイスをコンピュータにセットする

2 をクリックする

ブラウザーパネルに [デバイス] ペインが表示されます。

3 情報を読み込みたい USB デバイスの ▭ を右クリックして、[コレクションを更新する] を選ぶ

音楽ファイルの情報の更新が始まると [USB デバイスでコレクションを更新する] 画面が開いて、更新が終わると閉じます。

- 以下の情報が更新されます。
  - — キューポイントおよびループポイント
  - — ホットキュー
  - — ビートグリッド
  - — 曲の情報 (カラー、評価、コメント)
- 更新中に [キャンセル] をクリックすると、[USB デバイスでコレクションを更新する] 画面が閉じます。

DJ プレーヤーで作成したプレイリストファイルを読み込む

CDJ-2000nexus CDJ-2000 CDJ-900 CDJ-850 CDJ-350 XDJ-R1

DJ プレーヤーで作成したプレイリストは USB デバイス内に保存されています。DJ プレーヤーで作成したプレイリストを [デバイス] ペインで確認してから [プレイリスト] ペインに読み込めます。

1 をクリックする

ブラウザーパネルに [デバイス] ペインが表示されます。

2 プレイリストを読み込みたい ▭ の左にある ⊞ をクリックしてから、[プレイリスト] フォルダの左にある ⊞ をクリックする

USB デバイス内に保存されているプレイリストの一覧が [デバイス] ペインに表示されます。

3 読み込みたいプレイリストを [ブリッジ] ペインから [プレイリスト] ペインにドラッグする

プレイリストが [プレイリスト] ペインに追加されます。

- [デバイス] ペインで読み込みたいプレイリストを右クリックして、[プレイリストをインポート] を選んでも追加できます。
- [プレイリスト] ペイン上に同じ名前のプレイリストが存在するときは、プレイリスト名のあとに数字が付与されます。

> DJ プレーヤーで作成されたプレイリスト内に rekordbox のコレクションに登録されていない曲が含まれる場合には、その曲が曲順から外されたプレイリストが読み込まれます。

LAN につないで演奏する

CDJ-2000nexus CDJ-2000 CDJ-900 DJM-2000nexus DJM-2000 DJM-900nexus XDJ-AERO

DJ プレーヤーとコンピュータを LAN ケーブルや無線 LAN で接続すると、rekordbox の音楽ファイルやデータを DJ プレーヤーにリアルタイムでロードできます。
PRO DJ LINK に対応した DJ ミキサーとコンピュータを LAN ケーブルを使って接続すると、DJ ミキサーのヘッドホンで rekordbox の音楽ファイルをモニターできます。

リンクを確立する (リンクステータスを表示する)

コンピュータで使用されているセキュリティソフトや OS の設定によっては、DJ 機器とのリンクを確立できないことがあります。
この場合は、遮断されているプログラムや通信ポートの設定を解除する必要があります (➡ 30ページ の「コンピュータの通信環境 (プログラム /OS/ ネットワーク)」)。

1 コンピュータと DJ 機器を接続する

ネットワークに接続されている DJ 機器が検出されると、ブラウザーパネルの左下に [LINK] が表示されます。

- 接続のしかたについては、各 DJ 機器およびコンピュータの取扱説明書をご覧ください。
- スイッチングハブまたは PRO DJ LINK に対応した DJ ミキサーを使って接続すると、最大 4 台の DJ プレーヤーで rekordbox の音楽ファイルやデータを共有できます。
- 通信環境によっては、ネットワークアドレスが自動的に取得されるまでに時間がかかることがあります。

2 [LINK] をクリックする

LAN ケーブルや無線 LAN で接続されている DJ 機器との通信が可能な状態になります。
ブラウザーパネルの下部にリンクステータスパネル (接続されている DJ 機器のアイコン) が表示され、[LINK] が [1 LINK] に変わります。

- リンクステータスパネルの左に [2 LINK] が表示されるときは、接続したコンピュータが 2 台目で、rekordbox をインストールしたほかのコンピュータがすでにネットワーク内にあることを示しています。
- リンクステータスパネルの左に [LINK] が表示されるときは、コンピュータが無線 LAN でネットワークに接続されていることを示しています。
- DJ 機器のアイコンの右に [MIDI/HID] が表示されているときは、その DJ 機器が別のコンピュータと USB コントロール (MIDI または HID) で通信中であることを示しています。

❖ リンクステータスパネルに表示されている DJ 機器のアイコンを並べ替える

リンクステータスパネルに表示されている DJ 機器のアイコンを左右にドラッグすると、アイコンの表示順序を実際に DJ 機器が配置されている並び順に合わせられます。

音楽ファイルを DJ ミキサーのヘッドホンでモニターする

DJM-2000nexus DJM-2000 DJM-900nexus

DJ ミキサーのヘッドホンで rekordbox の音楽ファイルをモニターするときは、あらかじめ [環境設定] 画面で設定してください (➡ 27ページ の「PIONEER DJ ミキサーの「LINK MONITOR」機能を使用する」)。

1 音楽ファイルをブラウザーパネルからプレーヤーパネルにドラッグする

音楽ファイルがプレーヤーパネルにロードされます。

- ブラウザーパネルからリンクステータスパネルの [ミキサー] に音楽ファイルをドラッグしても、プレーヤーパネルにロードできます。

2 プレーヤーパネルの [▶/❚❚] をクリックする

再生が始まります。
rekordbox の音楽ファイルの音声が LAN ケーブルを伝わって DJ ミキサーへ出力されます。

3 DJ ミキサーの [LINK] チャンネルの音声をヘッドホンでモニターする

- DJ ミキサーの操作については、各 DJ ミキサーの取扱説明書をご覧ください。

音楽ファイルを DJ プレーヤーにロードする

DJ プレーヤーの [LOCK] 機能が働いている場合には、DJ プレーヤーの再生を一時停止してからでないと音楽ファイルをロードできません。

1 [Collection] をクリックする

ブラウザーパネルに [コレクション] ペインが表示されます。

2 音楽ファイルを [コレクション] ペインからリンクステータスパネルの [プレーヤー] にドラッグする

音楽ファイルが DJ プレーヤーにロードされ、再生が始まります。

- [プレイリスト] ペイン、[ブリッジ] ペイン、[タグリスト] ペイン、または [演奏履歴] ペインから音楽ファイルをドラッグしても DJ プレーヤーにロードできます。

[ブリッジ] ペインから音楽ファイルを DJ プレーヤーにロードした場合などに、未解析の音楽ファイルがあるとその解析処理によって、コンピュータに負荷がかかることがあります。
この負荷を軽減して音楽ファイルを DJ プレーヤーにスムーズにロードするためには、あらかじめ [環境設定] 画面で設定してください (➡ 27ページ の「LAN 接続中の解析を許可」)。

❖ DJ プレーヤーや DJ ミキサーでクオンタイズ機能を使って演奏する

rekordbox を使って検出および調整した音楽ファイルのビートグリッドは、DJ プレーヤー（CDJ-2000nexus、CDJ-2000、CDJ-900、XDJ-AERO など）でキュー操作やループ演奏時のクオンタイズ機能で使用されます。さらに、DJ プレーヤー（CDJ-2000nexus、CDJ-2000、CDJ-900 など）と DJ ミキサー（DJM-2000nexus、DJM-2000、DJM-900nexus など）が LAN ケーブルで接続されている場合、エフェクト演奏時のクオンタイズ機能で使用できます。

- DJ プレーヤーや DJ ミキサーでのクオンタイズ機能の使用方法については、各 DJ 機器の取扱説明書をご覧ください。

❖ 複数の DJ プレーヤー間でビートシンク機能を使って演奏する

rekordbox を使って検出および調整した音楽ファイルのビートグリッドを使うと、PRO DJ LINK で接続された複数の DJ プレーヤー (CDJ-2000nexus など) の間や左右のデッキ (XDJ-AERO など) の間でテンポ (BPM) と拍位置 (ビート) を同期させたミキシングができます。

- DJ プレーヤーでのビートシンク機能の使用方法については、各 DJ プレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

> rekordbox でテンポ（BPM）を指定して、複数の DJ プレーヤー（CDJ-2000nexus など) のテンポ (BPM) と拍位置 (ビート) を同期させることもできます（➡ 9ページ の「リンクステータスパネル」）。

❖ DJ プレーヤーでホットキューを使って演奏する

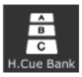
音楽ファイルに記録されているホットキュー (**A**、**B**、**C**) を DJ プレーヤー (CDJ-2000nexus や CDJ-2000 など) で呼び出して再生することができます。

- 音楽ファイルに記録されているホットキュー（**A**、**B**、**C**）を DJ プレーヤーで使用する方法については、各 DJ プレーヤーの取扱説明書をご覧ください。
- 一部の DJ プレーヤー（CDJ-2000nexus など ）では、音楽ファイルを選曲して DJ プレーヤーにロードすると同時に、ロードされた音楽ファイルに記録されているホットキュー (**A**、**B**、**C**) で DJ プレーヤーのホットキュー (**A**、**B**、**C**) を強制的に置き換えてしまうこともできます（➡ 27ページ の「インポート時、CDJ にホットキューを自動ロードするように設定」）。
- 異なる音楽ファイルのホットキュー の組み合わせ (**A**、**B**、**C**) を使って演奏する場合には、ホットキューバンクリストを作成して DJ プレーヤーにロードする必要があります。

ホットキューバンクリストを DJ プレーヤーにロードする

CDJ-2000nexus CDJ-2000

> 異なる音楽ファイルのホットキュー の組み合わせ (**A**、**B**、**C**) を使って演奏する場合には、あらかじめホットキューバンクリストを作成しておく必要があります（➡ 19ページ の「ホットキューバンクリストを使ってホットキューを整理する」）。

1  をクリックする

ブラウザーパネルに [ホットキューバンクリスト] ペインが表示されます。

2 ホットキューバンクリストを [ホットキューバンクリスト] ペインからリンクステータスパネルの にドラッグする

ホットキューバンクリストに登録されているホットキューバンク（**A**、**B**、**C**）が、D J プレーヤーのホットキュー (**A**、**B**、**C**) にロードされます。

タグリストを使って音楽ファイルを共有する

CDJ-2000nexus CDJ-2000 CDJ-900 XDJ-AERO

タグリストとは、リンクステータスパネルに表示されている複数の DJ プレーヤーの間で、リアルタイムで相互に参照できるリストのことです。
rekordbox からタグリストに音楽ファイルを追加すると、タグリスト上の音楽ファイルを DJ プレーヤーからの操作によって DJ プレーヤーにロードして再生できます。

1 をクリックする

ブラウザーパネルに [コレクション] ペインが表示されます。

2 の右にある をクリックする

ブラウザーパネルの左側に [コレクション] ペイン、右側に [タグリスト] ペインが表示されます。

3 音楽ファイルを [コレクション] ペインから [タグリスト] ペインにドラッグする

音楽ファイルが [タグリスト] ペインに追加されます。

- [プレイリスト] ペインまたは [ブリッジ] ペインから音楽ファイルやプレイリストをドラッグしても追加できます。
- 最大 100 ファイルまで追加できます。

❖ タグリスト内の曲順を変更する

1 曲順の番号が表示されている列の見出しをクリックする

クリックするたびに昇順 / 降順が切り替わります。

2 音楽ファイルをドラッグして、順番を並べ替える

曲順以外でソートしているときは、音楽ファイルをドラッグしても曲順は変更できません。

❖ DJ プレーヤーでタグリストを使って演奏する

各 DJ プレーヤーからの操作で、タグリスト上の音楽ファイルをそれぞれの DJ プレーヤーにロードして再生したり、実際の演奏に使われたタグリストを rekordbox のプレイリストとして保存したりできます。

- DJ プレーヤーからタグリストへのアクセス方法については、各 DJ プレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

演奏履歴を確認する

LAN ケーブルや無線 LAN で接続されている DJ プレーヤーで演奏した音楽ファイルおよび曲順を [演奏履歴] ペインで確認できます。

###

をクリックする

ブラウザーパネルに [演奏履歴] ペインが表示されます。

> [演奏履歴] ペインは、リンクが確立している間だけ表示できます。
> リンクを終了するときに演奏履歴をプレイリストとして保存することもできます。

リンクを終了する (演奏履歴を元にプレイリストを作成する)

1

をクリックする

LAN ケーブルや無線 LAN で接続されている DJ 機器 (CDJ-2000nexus、CDJ-2000、CDJ-900、DJM-2000nexus、DJM-2000、DJM-900nexus、XDJ-AERO など) との通信が終了し、[演奏履歴をプレイリストとして保存] 画面が開きます。

2 [はい] をクリックする

演奏履歴の曲順を元にプレイリスト (例：演奏履歴 2010y12m31d) が作成され、[プレイリスト] ペインに追加されます。

- プレイリストが作成されると、[演奏履歴] ペインに表示されていた演奏履歴が消去されます。

❖ [演奏履歴をプレイリストとして保存] 画面で [いいえ] を選んだとき

プレイリストとして保存されていない演奏履歴は、rekordbox を終了させるまでは残っています。

- 再度リンクを確立して演奏を続けると、[演奏履歴] ペインに残っている履歴のあとに新たに演奏した履歴が追加されます。
- [演奏履歴] ペインに履歴が残っていると、rekordbox を終了するときに [演奏履歴をプレイリストとして保存] 画面が再度開きます。

その他

設定項目一覧

rekordbox の各種設定を変更するときは、[**ファイル**] メニュー＞ [**環境設定**] を選んで [**環境設定**] 画面を開きます。

環境設定 : 一般

言語	画面表示に使う言語を設定します。	
文字	ブラウザーパネルに表示される文字の大きさを設定します。	
ポップヒントを表示	ポップヒントを表示する / しないを設定します。	
曲解析	モード	音楽ファイルの波形情報を解析するモードを設定します (➡ 10ページ の「音楽ファイルまたは音楽フォルダを解析する」)。 • ノーマル：テンポが一定している曲に適しています。 • ダイナミック：テンポが途中で変化する曲に適しています。
	インポート時にキーを検出	音楽ファイルをコレクションに追加するときに、キー (音階) の検出をするかどうかを設定します (➡ 10ページ の「音楽ファイルをコレクションに追加する」)。
	「Pioneer」フォルダ (解析ファイル)	解析した音楽ファイルの波形情報を保存する場所を設定します。
	LAN 接続中の解析を許可	ＤＪ機器とのリンクが確立している間でも、コレクションに追加された音楽ファイルの解析処理をする / しないを設定します (➡ 24ページ の「音楽ファイルを DJ プレーヤーにロードする」)。 ここで解析処理をしない設定にした場合には、処理は保留されます。保留された解析処理は、ＤＪ機器とのリンクが終了した後に自動的に開始されます。
	バージョン 1.5.3 以前に取り込んだ LAME エンコード mp3 の情報を自動的に調整	古いバージョン（1.5.3 以前）の rekordbox では「LAME を用いてエンコードされた MP3 ファイル」にある「ギャップレス再生情報」を利用していましたが、現行のパイオニア製 DJ プレーヤーおよび現行の rekordbox では「LAME を用いてエンコードされた MP3 ファイル」にある「ギャップレス再生情報」は利用していません。[拍位置] にチェックを入れることによって、古いバージョン（1.5.3 以前）の rekordbox で解析 / 調整された「LAME を用いてエンコードされた MP3 ファイル」でも、現行のパイオニア製 DJ プレーヤーおよび現行の rekordbox の仕様に合わせて拍位置が補正できます。また、[キューポイント] にチェックを入れることによって、古いバージョン（1.5.3 以前）の rekordbox で設定された「LAME を用いてエンコードされた MP3 ファイル」のキューやループも補正できます。これらの補正処理は、「LAME を用いてエンコードされた MP3 ファイル」を現行の rekordbox で再生したり、USB デバイスにエクスポートしたりする時に自動的に実行されて更新されます。
デバイス	プレイリスト削除時に曲を削除	[デバイス] ペインでプレイリストを削除すると、USB デバイス（または SD メモリーカード）内のプレイリストが削除されます。この処理と同時に、USB デバイス（または SD メモリーカード）内にある音楽ファイルを削除する / しないを設定します (➡ 22ページ の「プレイリストを USB デバイスに転送する」)。 音楽ファイルが削除されるのは、その音楽ファイルがほかのプレイリストで使われていない場合に限られます。
CDJ	インポート時、CDJ にホットキューを自動ロードするように設定	音楽ファイルをコレクションに追加するときに、[情報] ペインの [CDJ にホットキューを自動的にロード] にチェックを入れる / 入れないを設定します。[情報] ペインの [CDJ にホットキューを自動的にロード] にチェックが入っている音楽ファイルが DJ プレーヤー（CDJ-2000nexus、XDJ-R1 など）にロードされると、ロードされた音楽ファイルに記録されているホットキュー（**A**、**B**、**C**）で DJ プレーヤーのホットキュー（**A**、**B**、**C**）が強制的に置き換えられます。

環境設定 : ブリッジ

iTunes	iTunes ライブラリファイル	[ブリッジ] ペインでブラウズする iTunes ライブラリの XML ファイルを指定します (➡ 11ページ の「iTunes ライブラリから音楽ファイルを追加する」)。
	iTunes の「グループ」情報を rekordbox の「レーベル」情報に変換	iTunes ライブラリから rekordbox のコレクションに音楽ファイルの情報を取り込むときに、iTunes のグループ情報を rekordbox のレーベル情報として保存する / しないを設定します。
rekordbox XML	拍位置情報をエクスポート	rekordbox のライブラリの情報を XML ファイルに書き出すときに、rekordbox の拍位置情報を XML ファイルに出力する / しないを設定します（➡ 28ページ の「プレイリスト情報をエクスポート」)。
	インポートされているライブラリ	[ブリッジ] ペインでブラウズするプレイリストライブラリ（XML ファイルの場所）を指定します。rekordbox で表示できるプレイリストライブラリについての最新情報は、rekordbox のオンラインサポートをご覧ください (➡ 31ページ の「オンラインサポートのご利用について」)。

環境設定 : オーディオ

PIONEER DJミキサーの「LINK MONITOR」機能を使用する	PRO DJ LINK で接続された DJ ミキサーのヘッドホンで rekordbox の音楽ファイルをモニターする / しないを設定します (➡ 24ページ の「音楽ファイルを DJ ミキサーのヘッドホンでモニターする」)。
メトロノーム	音楽ファイルのビートグリッドを試聴するときのメトロノームの音色を設定します（➡ 14ページ の「その他のアイコン（ビートグリッド調整メニュー）」)。
オーディオデバイス	音声を出力するオーディオデバイスを設定します。
サンプルレート	オーディオデバイスに送る音声データのサンプリング周波数を設定します。 サンプルレートが高いほど、原音に近い音声で再生できます。ただし、音声データ量が増すためオーディオデバイスへの負荷が大きくなります。
バッファサイズ	1 回にオーディオデバイスへ送るサンプル数を設定します。 バッファサイズを大きくすると、音声データの欠落 (音飛び) は減ります。ただし、音声データの伝送遅延 (レイテンシー) が増えるため、音楽ファイルの見かけ上の再生位置と、実際に出力されている音声で時間差が大きくなります。
出力チャンネル	オーディオデバイスに複数の出力があるとき、音声を出力するチャンネルを設定します。

環境設定 : キーボード

キーボード	プレーヤーパネルの各ボタンにキーボードショートカットを割り当てます。

環境設定 : エクスポート

一般	ネットワーク上での名称	DJ 機器 (CDJ-2000nexus や XDJ-AERO など) に表示されるこのコンピュータの名前を設定します。
	選択した機器用のライブラリを作成	USB デバイス内に MEP-4000 専用または XDJ-R1 専用のライブラリ（コレクションやプレイリストなどのデータベース）を作成する / しないを設定します。ライブラリを作成する設定にしたときには、コンピュータから USB デバイスを取り外す際に USB デバイス内に MEP-4000 専用または XDJ-R1 専用のライブラリが作成されます（➡ 22ページ の「コンピュータから USB デバイスを取り外す」)。
カテゴリー	DJ プレーヤーで使用するカテゴリー項目と表示順序を指定します。DJ プレーヤーでのライブラリブラウズの使用方法については、各 DJ プレーヤーの取扱説明書をご覧ください。	
ソート	DJ プレーヤーで使用する並び替え項目と表示順序を指定します。DJ プレーヤーでのライブラリブラウズの使用方法については、各 DJ プレーヤーの取扱説明書をご覧ください。	
コラム	DJ プレーヤー (CDJ-2000nexus など) の本体表示部で音楽ファイルをブラウズする際に、タイトルのすぐ右側に表示さたいユーザー設定カテゴリーを 1 つ指定します。	
マイセッティング	DJ プレーヤーの本体の設定を rekordbox に保存しておいて、USB デバイスやモバイルデバイス、または PRO DJ LINK を経由して DJ プレーヤーに反映させることができます。使い慣れている設定を即座に DJ プレーヤーにセットアップできるので、安心して DJ プレイに専念することができます。マイセッテイングに保存しておいて呼び出せる設定項目については、各 DJ プレーヤー (CDJ-2000nexus など) の取扱説明書をご覧ください。	

環境設定 : カラー

カラー	DJ プレーヤーで音楽ファイルを８色のカテゴリーで分類するときの色分けについてコメントを編集できます。DJ プレーヤーでのライブラリブラウズの使用方法については、各 DJ プレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

- エクスポート (カテゴリー / ソート / コラム) とカラーの設定は、リンクステータスパネルに表示されている複数の DJ プレーヤーに対して共通に適用されます。
- エクスポート (カテゴリー / ソート / コラム) とカラーの設定は、[デバイス] ペインのデフォルト値としても適用されます。USB デバイスごとに設定が変更できます (➡ 21ページ の「コンピュータに USB デバイスを接続する」)。

メニュー項目一覧

[ファイル] メニュー

インポート > ファイル	音楽ファイルを解析してコレクションに追加します (➡ 10ページ の「音楽ファイルをコレクションに追加する」) 。
インポート > フォルダ	フォルダ内にある音楽ファイルを解析してコレクションに追加します (➡ 10ページ の「音楽ファイルをコレクションに追加する」)。
インポート > プレイリスト	プレイリストファイル (M3U または PLS) をインポートし、プレイリストを構成する音楽ファイルを解析して rekordbox のライブラリ (コレクションやプレイリストなどのデータベース) に追加します (➡ 17ページ の「プレイリストファイルを読み込んでプレイリストを追加する」)。
ライブラリ > バックアップ	rekordbox のライブラリ（コレクションやプレイリストなどのデータベース）をバックアップします。 バックアップデータはファイル名に日付を付けて保存できます。
ライブラリ > 復元	rekordbox のライブラリ（コレクションやプレイリストなどのデータベース）を復元します。 復元の元になるデータは、複数のバックアップファイルの中から選べます。
プレイリスト情報をエクスポート	rekordbox のライブラリ (コレクションやプレイリストなどのデータベース) にあるすべてのプレイリストの情報およびそれらのプレイリストを構成している音楽ファイルの情報を、XML 形式の単一ファイルに書き出します (➡ 27ページ の「拍位置情報をエクスポート」)。
見つからないファイルをすべて表示	音楽ファイルの削除や移動などによって再生不能になったコレクションを表示します (➡ 12ページ の「見つからない音楽ファイルのファイルパスを更新する」)。
環境設定	rekordbox の各種設定を変更します (➡ 27ページ の「設定項目一覧」)。
終了	rekordbox を終了します。

[表示] メニュー

全画面表示	rekordbox のウィンドウを全画面表示にします。
プレーヤーを表示する（フル）	プレーヤーパネルを表示します。
プレーヤーを表示する（シンプル）	プレーヤーパネルを簡易的に表示します。 音楽ファイルの再生、一時停止、および音量調節だけ操作できます。
プレーヤーを隠す	プレーヤーパネルを非表示にします。 ブラウザーパネルで音楽ファイルをダブルクリックすると音楽ファイルを再生します。

[ヘルプ] メニュー

操作説明書 (PDF)	本ソフトウェアの操作説明書を開きます。
オンラインマニュアル	本ソフトウェアのオンラインマニュアルへ接続します。
オンラインサポート	本ソフトウェアのオンラインサポートへ接続します。
rekordbox アップデートマネージャー	本ソフトウェアのアップデートサイトへ接続します。
バージョン情報	本ソフトウェアのバージョンを表示します。

ジャンル一覧

音楽ファイルのタグ情報にジャンル名称が存在しないとき、ジャンルコードを以下の英文字列に変換して表示します。

0	Blues	ブルース
1	Classic Rock	クラシックロック
2	Country	カントリー
3	Dance	ダンス
4	Disco	ディスコ
5	Funk	ファンク
6	Grunge	グランジ
7	Hip-Hop	ヒップホップ
8	Jazz	ジャズ
9	Metal	メタル
10	New Age	ニューエイジ
11	Oldies	オールディーズ
12	Other	その他
13	Pop	ポップ
14	R&B	リズム & ブルース
15	Rap	ラップ
16	Reggae	レゲエ
17	Rock	ロック
18	Techno	テクノ
19	Industrial	インダストリアル
20	Alternative	オルタナティブ
21	Ska	スカ
22	Death Metal	デスメタル
23	Pranks	プランクス
24	Soundtrack	サウンドトラック
25	Euro-Techno	ユーロテクノ
26	Ambient	アンビエント
27	Trip-Hop	トリップホップ
28	Vocal	ボーカル
29	Jazz+Funk	ジャズファンク
30	Fusion	フュージョン
31	Trance	トランス
32	Classical	クラシカル
33	Instrumental	インストゥルメンタル
34	Acid	アシッド
35	House	ハウス
36	Game	ゲーム
37	Sound Clip	サウンドクリップ
38	Gospel	ゴスペル
39	Noise	ノイズ
40	Alternative Rock	オルタナティブロック
41	Bass	ベース
42	Soul	ソウル
43	Punk	パンク
44	Space	スペース
45	Meditative	メディタティブ
46	Instrumental Pop	インストゥルメンタルポップ
47	Instrumental Rock	インストゥルメンタルロック
48	Ethnic	エスニック
49	Gothic	ゴシック
50	Darkwave	ダークウエーブ
51	Techno-Industrial	テクノインダストリアル
52	Electronic	エレクトロニック
53	Pop-Folk	ポップフォーク
54	Eurodance	ユーロダンス
55	Dream	ドリーム
56	Southern Rock	サザンロック
57	Comedy	コメディ
58	Cult	カルト
59	Gangsta	ギャングスタ
60	Top 40	トップ４０
61	Christian Rap	クリスチャンラップ
62	Pop/Funk	ポップファンク
63	Jungle	ジャングル
64	Native American	ネイティブアメリカン
65	Cabaret	キャバレー
66	New Wave	ニューウェーブ
67	Psychedelic	サイケデリック
68	Rave	レイブ
69	Showtunes	ショーチューンズ
70	Trailer	トレーラ
71	Lo-Fi	ローファイ
72	Tribal	トライバル
73	Acid Punk	アシッドパンク
74	Acid Jazz	アシッドジャズ
75	Polka	ポルカ
76	Retro	レトロ
77	Musical	ミュージカル
78	Rock & Roll	ロックンロール
79	Hard Rock	ハードロック
80	Folk	フォーク
81	Folk/Rock	フォークロック
82	National Folk	ナショナルフォーク
83	Swing	スウィング
84	Fast Fusion	ファストフュージョン
85	Bebop	ビバップ
86	Latin	ラテン
87	Revival	リバイバル
88	Celtic	ケルト
89	Bluegrass	ブルーグラス
90	Avantgarde	アバンギャルド
91	Gothic Rock	ゴシックロック
92	Progressive Rock	プログレッシブロック
93	Psychedelic Rock	サイケデリックロック
94	Symphonic Rock	シンフォニックロック
95	Slow Rock	スローロック
96	Big Band	ビッグバンド
97	Chorus	コーラス
98	Easy Listening	イージーリスニング
99	Acoustic	アコースティック
100	Humour	ユーモア
101	Speech	スピーチ
102	Chanson	シャンソン
103	Opera	オペラ
104	Chamber Music	室内楽
105	Sonata	ソナタ
106	Symphony	シンフォニー
107	Booty Bass	ブーティベース
108	Primus	プライマス
109	Porn Groove	ポルノグルーブ
110	Satire	サタイア
111	Slow Jam	スロージャム
112	Club	クラブ
113	Tango	タンゴ
114	Samba	サンバ
115	Folklore	フォルクローレ
116	Ballad	バラード
117	Power Ballad	パワーバラード
118	Rhythmic Soul	リズミックソウル
119	Freestyle	フリースタイル
120	Duet	デュエット
121	Punk Rock	パンクロック
122	Drum Solo	ドラムソロ
123	A Capella	アカペラ
124	Euro-House	ユーロハウス
125	Dance Hall	ダンスホール
126	Goa	ゴア
127	Drum & Bass	ドラム & ベース
128	Club-House	クラブハウス
129	Hardcore	ハードコア
130	Terror	テラー
131	Indie	インディーズ
132	BritPop	ブリットポップ
133	Negerpunk	Neger パンク
134	Polsk Punk	Polsk パンク
135	Beat	ビート
136	Christian Gangsta Rap	クリスチャンギャングスタラップ
137	Heavy Metal	ヘビーメタル
138	Black Metal	ブラックメタル
139	Crossover	クロスオーバー
140	Contemporary Christian	コンテンポラリークリスチャン
141	Christian Rock	クリスチャンロック
142	Merengue	メレンゲ
143	Salsa	サルサ
144	Thrash Metal	スラッシュメタル
145	Anime	アニメ
146	Jpop	Ｊポップ
147	Synthpop	シンセポップ

免責事項について

お客様が本ソフトウェアを使用するにあたっての合法性や道徳性、動作の確実性などについて当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。お客様がお使いになっているコンピュータおよび本ソフトウェアの動作環境、他のソフトウェアとの組合せによっては、本ソフトウェアの動作に不具合が発生することがあります。万一、お客様が本ソフトウェアを使用して登録した情報が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。お客様が登録した内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。

読み込みおよび再生が可能な音楽ファイル (ファイル形式)

本ソフトウェアで読み込みおよび再生できる音楽ファイルは、以下の表のとおりです。あらかじめご了承ください。

ファイル形式

音楽ファイル	対応フォーマット	エンコード方式	ビット処理	ビットレート	サンプリング周波数	ファイル拡張子
MP3 ファイル	MPEG-1 AUDIO LAYER-3	CBR, VBR	16 bit	32 kbps ～ 320 kbps	32 kHz, 44.1 kHz, 48 kHz	.mp3
	MPEG-2 AUDIO LAYER-3	CBR, VBR	16 bit	16 kbps ～ 160 kbps	16 kHz, 22.05 kHz, 24 kHz	.mp3
AAC ファイル	MPEG-4 AAC LC	CBR, VBR	16 bit	8 kbps ～ 320 kbps	16 kHz, 22.05 kHz, 24 kHz, 32 kHz, 44.1 kHz, 48 kHz	.m4a, .mp4
WAVE ファイル		非圧縮 PCM	16 bit, 24 bit	–	44.1 kHz, 48 kHz	.wav
AIFF ファイル		非圧縮 PCM	16 bit, 24 bit	–	44.1 kHz, 48 kHz	.aif, .aiff

- 音声と動画が記録されている音楽ファイル、または著作権が保護されている音楽ファイルは、読み込みおよび再生できないことがあります。
- パイオニア製 DJ プレーヤーで読み込みおよび再生できる音楽ファイル (ファイル形式) については、各 DJ プレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

書き込みが可能な記憶媒体 (ファイルシステム)

本ソフトウェアで書き込みできる SD メモリーカードおよび USB デバイス (フラッシュメモリーまたはハードディスク) は以下の表のとおりです。あらかじめご了承ください。

ファイルシステム

記憶媒体	FAT16	FAT32	NTFS	HFS	HFS+
SD メモリーカード	○	○	×	×	×
USB デバイス	○	○	×	×	○

- パイオニア製 DJ プレーヤーで使える SD メモリーカードおよび USB デバイス (フラッシュメモリーまたはハードディスク) については、各 DJ プレーヤーの取扱説明書をご覧ください。
- rekordbox と組み合わせて使用できるパイオニア製 DJ プレーヤーについての最新情報は、rekordbox のオンラインサポートでご案内しています。

コンピュータの通信環境 (プログラム /OS/ ネットワーク)

コンピュータで使用されているセキュリティソフトや OS の設定によっては、DJ 機器やモバイルデバイスとの通信が遮断されてしまうことがあります。
この場合は、遮断されているプログラム（以下の 4 つ）の設定を解除する必要があります。

- rekordbox.exe
- PSvNFSd.exe
- PSvLinkSysMgr.exe
- edb_streamd.exe

コンピュータのインターネット接続の共有を有効にすると、LAN に接続されている他のコンピュータや DJ 機器の通信に障害が発生することがあります。コンピュータを LAN に接続する前に、コンピュータのインターネット接続の共有を無効に戻してください。
コンピュータのインターネット接続の共有を無効に戻す方法は、以下のとおりです。

- Mac OS X : [**システム環境設定**] を開き、[**インターネットとネットワーク**] にある [**共有**] の [**インターネット共有**] のチェックを外す。
- Windows : [**ローカルエリア接続のプロパティ**] を開き、[**共有**] にある [**インターネット接続の共有**] の [**ネットワークのほかのユーザーに、このコンピュータのインターネット接続をとおしての接続を許可する**] のチェックを外す。

また、ルーターなどの通信機器によってネットワーク (IP アドレスやポート番号) が制限されている場合も、DJ 機器やモバイルデバイスとの通信が遮断されてしまうことがあります。
ご使用になられている、通信機器、セキュリティソフト、OS の設定方法については、各メーカーまたは販売代理店へご確認ください。

オンラインサポートのご利用について

rekordbox の操作方法や技術的な質問をお問い合わせいただく前に、rekordbox の操作説明書およびオンラインマニュアルをお読みいただくとともに rekordbox のオンラインサポートに掲載されております FAQ をご確認ください。

<rekordbox のオンラインサポート>
http://rekordbox.com/

- rekordbox についてお問い合わせいただくには、事前に rekordbox のオンラインサポートでユーザー登録を行う必要があります。
- ユーザー登録の際にはライセンスキーの入力が必要ですので、お手元にライセンスキーをご用意ください。なお、ユーザー登録の際にご指定いただきました「ログインネーム (お客様の e-mail アドレス)」と「パスワード」は、ライセンスキーと同様、お忘れにならないように十分ご注意ください。
- パイオニアグループでは、以下の使用目的のためにお客様の個人情報を収集させていただいております。
  1　お買い上げいただいた商品のアフターサービスをご提供させていただくため
  2　商品に関する重要な情報やイベント情報を電子メールでお客様にお知らせするため
  3　お客様よりアンケートを収集させていただき、調査結果を商品企画に反映するため
  — お客様から収集する個人情報は当社が定める個人情報保護方針に則って厳重に管理いたします。
  — 当社の個人情報保護方針は rekordbox のオンラインサポートでご覧いただけます。
- rekordbox についてのお問い合わせの際には、お客様のコンピュータの機種名およびスペックの詳細 (CPU・メモリー搭載量・接続している周辺機器など)・オペレーティングシステムのバージョン・具体的な不具合の症状を必ずご連絡ください。
  — コンピュータや周辺機器など、当社の取り扱い製品以外の組み合わせや技術的な質問に関しては、各メーカーまたは販売代理店へご確認ください。
- 今後、rekordbox の機能・性能向上のためのバージョンアップを予定しております。rekordbox のオンラインサポートからアップデートプログラムをダウンロードできます。是非ともこのアップデートを行っていただき、常に最新バージョンをお使いいただきますようお願い申し上げます。

著作権についてのご注意

- rekordbox では、著作権保護の対象となる音楽コンテンツの再生や複製が制限されています。
  — 音楽コンテンツに著作権保護のための暗号データなどが埋め込まれているときは、プログラムが正しく動作できないことがあります。
  — 音楽コンテンツに著作権保護のための暗号データなどが埋め込まれていることを検知したときは、再生や読み込みなどの処理を中止することがあります。
- お客様が録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
  — CD などから録音される音楽は、各国の著作権法ならびに国際条約で保護されています。また、録音した者自身が、それを合法的に使用する上でのすべての責任を負います。
  — インターネットなどからダウンロードされる音楽を取り扱う際は、ダウンロードした者自身が、ダウンロードサイトとの契約に則ってそれを使用する上でのすべての責任を負います。

商標、ライセンス等

- Pioneer および rekordbox は、パイオニア株式会社の登録商標または商標です。
- Microsoft®、Windows Vista®、Windows® は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple、Finder、iTunes、Macintosh、および Mac OS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- Android™ は Google Inc. の商標です。
- Wi-Fi® は Wi-Fi Alliance の登録商標です。
- MPEG Layer-3 音声圧縮技術は、Fraunhofer IIS および Thomson multimedia からライセンスを受けています。
  本製品で付与されているライセンスは非商業的な個人目的での使用に限定され、商業目的 (営利目的) でのリアルタイム放送 (地上波、衛星放送、ケーブルテレビ、その他の媒体)、またはインターネット、イントラネット等のネットワークを利用したブロードキャストまたはストリーミング、あるいはペイオーディオ、オーディオンディマンドアプリケーション等の電子コンテンツ配信システムで本製品を使用するライセンスを与えるものではなく、そのような権利を暗示するものでもありません。商業目的での使用には別途ライセンスが必要となります。詳細については、http://www.mp3licensing.com をご覧ください。
- その他記載されている会社名および製品名等は、各社の登録商標または商標です。

©2009 パイオニア株式会社
禁無断転載

パイオニア株式会社
〒 212-0031 神奈川県川崎市幸区新小倉 1 番 1 号

<DRJ1001-R>
rekordbox version 2.0.3